

もち米をめぐる状況

令和7年4月

公益社団法人 米穀安定供給確保支援機構(もち米事業部)

目 次

(生産・検査)

1	もち米の生産	1
2	もち米の品種	2
3	もち米の検査(数量・等級)	3
4	もち米の検査(品種銘柄・主産地)	4

(集荷・流通)

5	主食用もち米等の集荷	5
6	主食用もち米の契約栽培	6
7	主食用もち米の販売・購入	7
8	加工用もち米等の生産・流通	8

(加工原材料用)

9	加工原材料用米穀の使用況	9
10	米穀粉の生産	10
11	加工米飯の生産	11
12	米菓の生産	12
13	包装もちの生産	13

(消費)

14	もちの消費(年間購入量)	14
15	もちの消費(月別、地域別購入量)	15
16	せんべい(あられを含む)の支出金額	16

(価格)

17	令和6年産主食用もち米の集荷業者仮渡金事例(業界紙べ)	17
18	主食用もち米の契約栽培基準価格等	18
19	もち米の市場取引価格	19
20	もちの小売価格	20

(輸入)

21	もち米の輸入・販売	21
22	米菓・米粉調製品の輸入	22

(輸出)

23	コメ・コメ加工品の輸出	23
24	パックご飯・米菓等の輸出	24

(参考)

令和3米穀年度もち米等の生産・輸入・消費のイメージ	25
---------------------------	----

1 もち米の生産

- 近年、水稻生産量は約800万トンから約700万トンに減少しているが、もち米生産量は約30万トンで推移。もち米の生産比率は、主食用うるち米価格が低迷した平成26年産や令和3年産以降一時上昇する等、変動し易い。
- もち米の道府県別作付割合は、佐賀21%、北海道9%、熊本8%、新潟6%、秋田5%が比較的高いが、大半は1～2%。

水稻もち米の生産量

(単位：万トン)

年産	水稻生産量①		もち米		比率②/ ①	(参考)主食用 全銘柄年産平均 相対価格
	うちもち米 ②	うち加工用米等	①	②		
平成26	844	30	3.5	3.5%	11,967	
27	799	33	4.9	4.1%	13,175	
28	804	35	6.1	4.4%	14,307	
29	782	33	6.6	4.2%	15,595	
30	778	29	5.5	3.7%	15,688	
令和元	776	28	5.1	3.6%	15,716	
2	776	29	5.1	3.7%	14,529	
3	756	31	7.0	4.1%	12,804	
4	727	31	7.3	4.3%	13,844	
5	717	未公表	7.3	-	15,315	
6	735	未公表	6.9	-	24,383	

資料)農林水産省「米をめぐる状況について」、作物統計

注)加工用米等は、新規需要米(除く飼料用米。)を含み、令和6年産は、加工用米取組計画認定状況(令和6年9月15日現在)のため、新規需要米を含まない。

(参考)米の用途別・年産別面積の推移

(単位：万ha)

用途 年産	主食用米		備蓄米	加工用米	新規需要米						
	生産量 (万トン)	面積			飼料用	WCS(稲発 酵粗飼料 稲)	米粉用	新市場開拓 用(輸出用 米等)	酒造用	その他	
平成26	147.4	788	4.5	4.9	7.1	3.4	3.1	0.3	0.1	0.1	0.1
27	140.6	744	4.5	4.7	12.5	8.0	3.8	0.4	0.2	0.1	0.0
28	138.1	750	4.0	5.1	13.9	9.1	4.1	0.3	0.1	0.1	0.0
29	137.0	731	3.5	5.2	14.3	9.2	4.3	0.5	0.1	0.1	0.0
30	138.6	733	2.2	5.1	13.1	8.0	4.3	0.5	0.4	-	0.0
令和元	137.9	726	3.3	4.7	12.4	7.3	4.2	0.5	0.4	-	0.0
2	136.6	723	3.7	4.5	12.6	7.1	4.3	0.6	0.6	-	0.0
3	130.3	701	3.6	4.8	17.4	11.6	4.4	0.8	0.7	-	0.0
4	125.1	670	3.6	5.0	20.6	14.2	4.8	0.8	0.7	-	0.0
5	124.2	661	3.5	4.9	20.4	13.4	5.3	0.8	0.9	-	0.0
6	125.9	683	3.0	5.0	17.3	9.9	5.6	0.6	1.1	-	0.0

資料)農林水産省「米をめぐる状況について」

注1)主食用米：統計部公表値。備蓄米：地域農業再生協議会が把握した面積。加工用米及び新規需要米：取組計画認定面積。

- 2) 新規需要米の「酒造用」については、「需要に応じた生産・販売の推進に関する要領」に基づき生産数量目標の枠の外で生産された玄米であり、平成30年産以降は取りまとめていない。
- 3) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和5年産水稻の道府県別作付割合

(単位：%)

道府県	うるち米(醸造用 米、もち米を除く)	醸造用米	もち米	道府県	うるち米(醸造用 米、もち米を除く)	醸造用米	もち米
北海道	90.7	0.5	8.8	滋賀	96.1	1.2	2.7
青森	98.2	0.8	1.0	京都	96.8	1.1	2.1
岩手	95.5	0.4	4.2	大阪	98.2	0.0	1.8
宮城	97.4	0.2	2.4	兵庫	83.0	15.4	1.6
秋田	94.0	0.9	5.1	奈良	98.1	1.1	0.8
山形	96.3	1.2	2.5	和歌山	98.4	0.2	1.4
福島	97.2	0.8	2.0	鳥取	96.4	1.5	2.1
茨城	97.9	0.1	2.0	島根	95.1	1.7	3.3
栃木	98.3	1.3	0.4	岡山	92.3	5.1	2.6
群馬	98.3	0.1	1.6	広島	94.0	3.2	2.8
埼玉	99.4	0.1	0.4	山口	94.4	3.5	2.1
千葉	95.9	0.0	4.0	徳島	97.3	0.7	2.1
神奈川	96.2	1.1	2.8	香川	97.3	1.1	1.7
新潟	92.2	2.3	5.5	愛媛	98.4	0.2	1.4
富山	94.9	2.0	3.1	高知	97.3	1.0	1.7
石川	95.8	1.3	2.9	福岡	96.7	1.1	2.2
福井	95.4	2.7	1.8	佐賀	78.9	0.6	20.5
山梨	96.7	1.6	1.8	長崎	98.6	0.2	1.2
長野	96.2	2.5	1.3	熊本	92.0	0.2	7.8
岐阜	95.1	0.9	4.0	大分	98.6	0.2	1.2
静岡	94.7	1.2	4.1	宮崎	98.7	0.1	1.2
愛知	99.0	0.2	0.8	鹿児島	98.4	0.0	1.6
三重	97.8	0.8	1.4	沖縄	99.9	0.0	0.1
全国計	95.0	1.5	3.5				

資料)当機構情報部「令和5年産水稻の品種別作付動向について」

- 注1) 道府県別作付割合は道府県行政等から情報提供いただいた数値を用いて推計した。
- 2) ラウンドの関係で全国計と内訳が一致しない場合がある。



2 もち米の品種

○ もち米の品種は、栽培地域の気候や品種特性等を踏まえて、各地で異なる。主産地の北海道は「風の子もち、はくちょうもち、きたゆきもち」で97%、秋田は「たつこもち、きぬのはだ」で約100%、新潟は「こがねもち、わたぼうし」で91%、佐賀や熊本では「ヒヨクモチ」でそれぞれ99%、92%の作付け。

○ 広域的に作付けされている品種は、福岡、佐賀、熊本等の「ヒヨクモチ」、岩手、山形、千葉等の「ヒメノモチ」等で、地域限定的に作付けされている品種は、北海道の「風の子もち」、秋田の「たつこもち」、滋賀の「滋賀羽二重糯」等となっている。

令和5年産もち米の道府県別作付上位品種

(単位：%)

道府県	全国のもち米 作付面積に占 める割合	作付順位 (道府県のもち米作付面積に占める割合)						合計
		1位		2位		3位		
		品種	割合	品種	割合	品種	割合	
北海道	17.4	風の子もち	42.5	はくちょうもち	33.8	きたゆきもち	20.8	97.2
青森	0.9	あかりもち	99.8					99.8
岩手	4.0	ヒメノモチ	83.2	こがねもち	13.0	もち美人	2.2	98.5
宮城	3.1	みやこがねもち	98.0					98.0
秋田	9.0	たつこもち	72.4	きぬのはだ	27.1			99.5
山形	3.2	ヒメノモチ	73.4	でわのもち	11.6	こゆきもち	7.8	92.8
福島	2.5	こがねもち	71.6	ヒメノモチ	28.4			100.0
茨城	2.5	マンゲツモチ	91.7	ヒメノモチ	6.0	ココノエモチ	2.3	100.0
栃木	0.5	きぬはなもち	66.7					66.7
群馬	0.5	群馬糯5号	13.6	まんぶくもち	9.1	マンゲツモチ	9.1	31.8
埼玉	0.3	峰の雪もち	50.0					50.0
千葉	4.1	ヒメノモチ	67.8	ふさのもち	13.9	マンゲツモチ	11.8	93.5
神奈川	0.2	喜寿糯	67.9	マンゲツモチ	12.8			80.8
新潟	13.6	こがねもち	52.8	わたぼうし	37.7			90.6
富山	2.3	新大正糯	62.0	とみちから	24.1	らいちょうもち	4.2	90.2
石川	1.4	カグラモチ	45.8	白山もち	30.8	新大正糯	13.8	90.4
福井	0.9	カグラモチ	47.1	タンチョウモチ	47.1			94.1
山梨	0.2	こがねもち	26.5	朝紫	20.5	マンゲツモチ	20.5	67.5
長野	0.9	もちひかり	48.7	モリモリモチ	25.9	ヒメノモチ	7.1	81.7
岐阜	1.8	たかやまもち	76.0	モチミノリ	18.7	ココノエモチ	4.6	99.3
静岡	1.3	峰の雪もち	51.9	葵美人	33.5	ヒヨクモチ	14.6	100.0
愛知	0.4	十五夜糯	14.3	ココノエモチ	9.5	こはるもち	9.5	33.3
三重	0.7	あゆみもち	47.4	カグラモチ	24.1	喜寿糯	10.1	81.6

道府県	全国のもち米 作付面積に占 める割合	作付順位 (道府県のもち米作付面積に占める割合)						合計
		1位		2位		3位		
		品種	割合	品種	割合	品種	割合	
滋賀	1.6	滋賀羽二重糯	91.7					91.7
京都	0.6	新羽二重糯	96.9	カグラモチ	3.1		(3位以下の品種はうるち米に含まれる。)	100.0
大阪	0.2	モチミノリ	100.0					100.0
兵庫	1.1	はりまもち	34.3	ヤマフクモチ	25.1	マンゲツモチ	15.2	74.6
奈良	0.1	旭糯	41.5	ココノエモチ	26.2			67.7
和歌山	0.2	モチミノリ	86.4					86.4
鳥取	0.5	ヒメノモチ	44.1	ハクトモチ	37.6	鈴原糯	3.7	85.3
島根	1.1	ヒメノモチ	42.8	ミコトモチ	22.6	ココノエモチ	18.7	84.0
岡山	1.5	ヒメノモチ	53.8	ココノエモチ	19.2	ヤシロモチ	11.5	84.6
広島	1.3	ヒメノモチ	57.0	ココノエモチ	30.6	タンチョウモチ	6.0	93.6
山口	0.7	ミヤタマモチ	53.6	マンゲツモチ	23.7	ヒヨクモチ	13.9	91.2
徳島	0.4	モチミノリ	63.6					63.6
香川	0.4	クレナイモチ	100.0					100.0
愛媛	0.4	モチミノリ	50.3	クレナイモチ	49.7			100.0
高知	0.4	たまひめもち	18.7	サイワイモチ	14.5	ヒデコモチ	8.4	41.6
福岡	1.5	ヒヨクモチ	87.5					87.5
佐賀	9.7	ヒヨクモチ	99.2	ヒデコモチ	0.6			99.8
長崎	0.3	ヒヨクモチ	20.3	モチミノリ	17.9	サイワイモチ	11.5	49.7
熊本	5.0	ヒヨクモチ	91.9	峰の雪もち	5.7			97.6
大分	0.5	ヒヨクモチ	42.5	ハクトモチ	8.8	ひみこもち	1.0	52.3
宮崎	0.4	クスタマモチ	34.8	ヒヨクモチ	20.6	いわともち	18.7	74.2
鹿児島	0.6	さつま絹もち	51.7	さつま雪もち	25.8	峰の雪もち	11.1	88.6
沖縄	0.0	ウルマモチ	75.7	ゆがふもち	9.5			85.1
合計	100.0							

資料) 当機構情報部「令和5年産水稻の品種別作付動向について」

注) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

3 もち米の検査(数量、等級)

○ もち米の検査数量は、生産量の増減によりバラツキはあるものの、20万トン程度で推移。

○ もち米の1等米比率は、地域、気象条件等によりバラツキはあるものの、全国平均で50～60%。

米穀の農産物検査結果

(単位:千トン)

年産	うるち玄米		もち玄米①				合計②	
	水稲	醸造用	水稲	対前年差	対前年比	陸稲	①/②	
平成27	4,869	109	224	33	117%	0.0	5,201	4.3%
28	4,929	107	250	27	112%	0.0	5,286	4.7%
29	4,764	102	223	▲28	89%	0.0	5,089	4.4%
30	4,656	96	180	▲43	81%	0.0	4,932	3.6%
令和元	4,836	96	174	▲6	97%	0.0	5,107	3.4%
2	4,902	85	183	9	105%	0.0	5,171	3.5%
3	4,795	75	206	23	112%	0.0	5,075	4.1%
4	4,523	79	200	▲6	97%	0.0	4,803	4.2%
5	4,417	92	195	▲5	97%	0.0	4,704	4.1%
“(12月末)	3,822	86	174	-	-	0.0	4,082	-
6	3,760	88	178	3	102%	0.0	4,025	4.4%

資料) 農林水産省「農産物検査結果確定値(6年産は令和6年12月31日現在速報値)」

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

水稲もち玄米の等級別検査数量

(単位:千トン)

区分	4年産		5年産		前年産との比較		5年産(令6.12月末)③		6年産(令6.12月末)		前年産同期との比較	
	①	構成比	②	構成比	②-①	②/①	③	構成比	③	構成比	③-②	③/②
水稲もち玄米	200.4	(100%)	194.9	(100%)	▲5.5	97%	174.3		177.6	(100%)	3.3	102%
1等	112.1	56%	101.7	52%	▲10.4	91%	96.8		105.8	60%	9.1	109%
2等	78.9	39%	82.0	42%	3.1	104%	66.9		62.1	35%	▲4.8	93%
3等	5.7	3%	7.7	4%	2.0	136%	7.6		6.9	4%	▲0.6	92%
規格外	3.8	2%	3.6	2%	▲0.3	93%	3.1		2.7	2%	▲0.4	88%

資料) 農林水産省「農産物検査結果確定値(令和6年産は令和6年12月31日現在速報値)」

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 水稲もち米の期別検査数量

(単位:千トン)

年産	当年11月末①		当年12月末②		翌年3月末③		確定値④ 翌年10月末
	①/④		②/④		③/④		
令和3	172.1	84%	186.2	90%	198.8	96%	206.1
4	169.9	85%	183.0	91%	194.7	97%	200.4
5	163.3	84%	174.3	89%	188.6	97%	194.9
6	165.6		177.6				

資料) 農林水産省「農産物検査結果」

もち米の生産量と検査数量

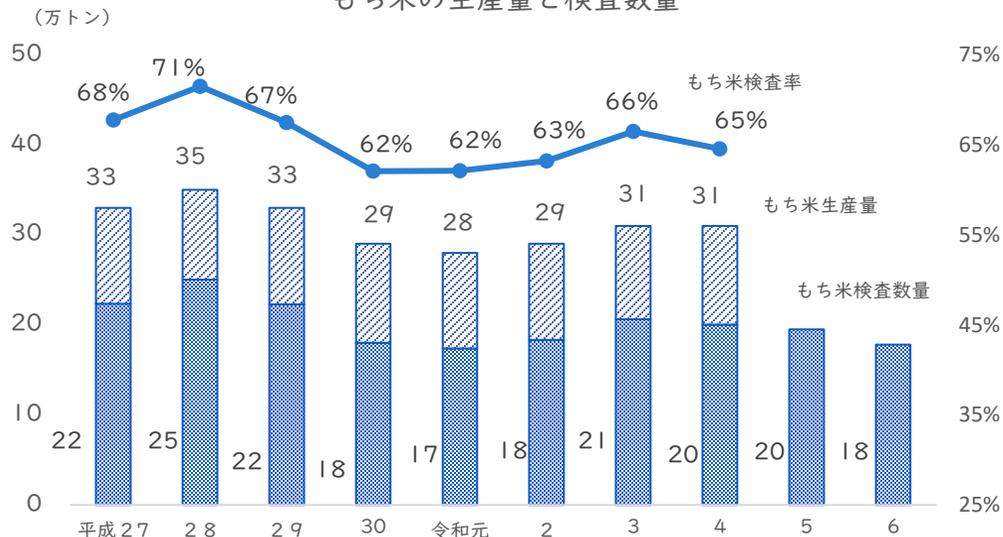
(単位:万トン)

年産	もち米生産量①	もち米検査数量②	もち米検査率②/①
平成27	33	22.4	68%
28	35	25.0	71%
29	33	22.3	67%
30	29	18.0	62%
令和元	28	17.4	62%
2	29	18.3	63%
3	31	20.6	66%
4	31	20.0	65%
5	未公表	19.5	-
6	未公表	17.8	-

資料) 農林水産省「米をめぐる状況について」、

「農産物検査結果確定値(令和6年産は令和6年12月31日現在速報値)」

もち米の生産量と検査数量



4 もち米の検査(品種銘柄、主産地)

○ もち米の品種銘柄別検査数量は、ヒヨクモチ、ヒメノモチ、風の子もち、たつこもち、こがねもち、はくちょうもち、わたぼうし、きたゆきもち、きぬのはだ、みやこがねもちの上位10品種銘柄で約80%を占め、品種銘柄に大きな変動ない。

○ もち米の産地別検査数量は、北海道、新潟、秋田、佐賀、熊本、千葉、岩手、山形、宮城、富山の上位10道県で約85%を占め、もち米生産団地の定着等により、主産地に大きな変動はない。

もち米の品種銘柄別検査数量

(単位：千トン)

区分	4年産①		5年産②		前年産との比較		5年産(令6.12月末)③		6年産(令6.12月末)④		前年産同期との比較	
	検査数量	構成比(100%)	検査数量	構成比(100%)	②-①	②/①	検査数量	構成比(100%)	検査数量	構成比(100%)	④-③	④/③
品種銘柄計	193.7		189.6		▲4.1	98%	169.4		173.1		3.7	102%
うち、上位10品種	159.9	83%	156.9	83%	▲2.9	98%	138.0		142.0		3.9	103%
ヒヨクモチ	34.0	18%	35.4	19%	▲1.4	104%	26.1		23.1		▲3.0	89%
ヒメノモチ	24.1	12%	23.4	12%	▲0.7	97%	23.3		23.0		▲0.3	99%
風の子もち	21.5	11%	19.6	10%	▲2.0	91%	18.5		20.5		2.0	111%
たつこもち	15.4	8%	17.3	9%	▲1.8	112%	10.9		11.4		0.6	105%
こがねもち	17.4	9%	16.5	9%	▲0.9	95%	16.4		17.4		1.0	106%
はくちょうもち	14.2	7%	13.9	7%	▲0.3	98%	13.9		16.0		2.0	115%
わたぼうし	12.2	6%	11.6	6%	▲0.6	95%	11.6		12.8		1.3	111%
きたゆきもち	9.8	5%	8.3	4%	▲1.5	84%	8.3		8.6		0.3	104%
きぬのはだ	6.5	3%	5.9	3%	▲0.6	91%	4.2		4.5		0.4	109%
みやこがねもち	4.7	2%	5.2	3%	▲0.4	109%	4.9		4.6		▲0.3	94%

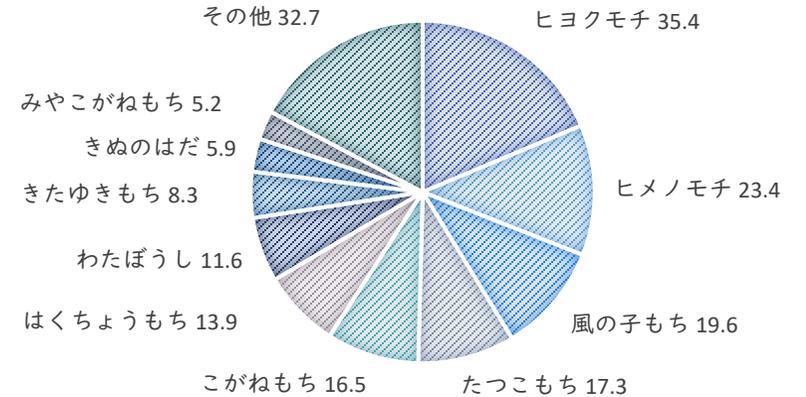
資料) 農林水産省「農産物検査結果確定値(6年産は令和6年12月31日現在速報値)」

注1) 品種銘柄計は、産地品種銘柄以外の検査数量も含まれるため検査数量計と一致しない。

注2) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和5年産もち米品種銘柄別検査数量

(千トン)



もち米の産地別検査数量

(単位：千トン)

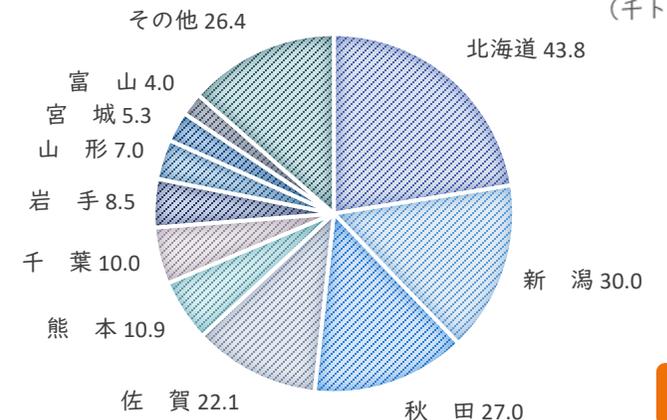
区分	4年産①		5年産②		前年産との比較		5年産(令6.12月末)③		6年産(令6.12末)④		前年産同期との比較	
	産地	検査数量(100%)	産地	検査数量(100%)	②-①	②/①	産地	検査数量(100%)	産地	検査数量(100%)	④-③	④/③
全国計		200.4		194.9	▲5.5	97%	174.3			177.6	3.3	102%
順位	1	北海道	47.5	北海道	43.8	▲3.7	92%	42.7	北海道	46.9	4.2	110%
	2	新潟	31.5	新潟	30.0	▲1.5	95%	29.9	新潟	32.0	2.0	107%
	3	秋田	25.5	秋田	27.0	▲1.5	106%	18.1	秋田	19.3	1.1	106%
	4	佐賀	21.7	佐賀	22.1	0.4	102%	16.5	佐賀	14.9	▲1.7	90%
	5	熊本	10.0	熊本	10.9	0.8	108%	8.4	千葉	10.3	0.4	104%
	1~5計		(68%) 136.2		(69%) 133.8	▲2.5	98%	115.7		(70%) 123.4	7.7	107%
	6	千葉	10.0	千葉	10.0	0.0	100%	9.9	岩手	8.7	0.2	102%
	7	岩手	8.9	岩手	8.5	▲0.3	96%	8.5	熊本	7.1	▲1.3	85%
	8	山形	7.6	山形	7.0	▲0.7	91%	6.9	山形	6.6	▲0.3	95%
	9	宮城	4.9	宮城	5.3	0.4	108%	5.0	宮城	4.7	▲0.3	94%
10	富山	4.0	富山	4.0	▲0.0	100%	4.0	富山	4.0	0.0	101%	
1~10計		(86%) 171.6		(87%) 168.6	▲3.0	98%	150.1		(87%) 154.5	4.4	103%	

資料) 農林水産省「農産物検査結果確定値(6年産は令和6年12月31日現在速報値)」

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和5年産もち米主産地別検査数量

(千トン)



5 主食用もち米等の集荷

- 主食用もち米の全国集出荷団体の集荷数量は8万トン程度で、もち米の検査数量に対する集荷率は約40%。
- 令和5年産主食用もち米の集荷の多い産地は、北海道、佐賀、新潟、岩手、宮城、福岡、秋田、熊本、岐阜、山形の上位10道県で90%以上。
- もち米の検査数量に対する集荷率は、佐賀、北海道、岩手では約80%以上、千葉では数%と地域差がある。

主食用もち米等の集荷数量

(単位：万トン)

年産	生産数量①	検査数量②	主食用もち米集荷数量③	加工用米・新規需要米④	その他②-③-④	【参考1】③/②	【参考2】(③+④)/②
平成27	33	22.4	9.6	4.9	7.9	43%	65%
28	35	25.0	10.4	6.1	8.5	42%	66%
29	33	22.3	9.2	6.6	6.5	41%	71%
30	29	18.0	7.6	5.5	4.9	42%	73%
令和元	28	17.4	7.2	5.1	5.1	41%	71%
2	29	18.3	8.0	5.1	5.2	44%	72%
3	31	20.6	8.7	7.0	4.9	42%	76%
4	31	20.0	8.0	7.3	4.7	40%	76%
5	未公表	19.5	7.4	7.3	4.8	38%	75%
6	未公表	17.8	7.3	6.9	3.6	41%	80%

資料1) 生産量は農林水産省「米をめぐる状況について」、検査数量は農林水産省「農産物検査結果確定値(令和6年産は令和6年12月31日現在速報値)」

2) 主食用もち米集荷量は全国集出荷団体調べ、加工用米・新規需要米は農林水産省「加工用米生産量」及び「新規需要米の生産量(除く飼料用米)」で令和6年は取組計画認定状況(9月15日現在)注) その他は、生産者直売や生産者自らの加工品製造販売などである。

主食用もち米の産地別集荷数量

(単位：千トン)

区分	令和4年産		5年産		6年産(令和7年1月現在)		前年産との比較		
	①		②		③		前年産との比較		
	県名	集荷数量	県名	集荷数量	県名	集荷数量	③-②	③/②	
全国計		(100%) 80.5		(100%) 73.7		(100%) 72.7	▲1.1	99%	
順位	1	北海道	31.9	北海道	27.6	北海道	31.1	▲3.5	113%
	2	佐賀	18.6	佐賀	17.5	佐賀	15.5	▲2.0	88%
	3	新潟	6.6	新潟	6.3	新潟	5.9	▲0.4	94%
	4	岩手	6.3	岩手	5.6	岩手	5.6	▲0.0	100%
	5	熊本	2.7	宮城	2.4	熊本	2.5	▲1.0	165%
	1~5計		(79%) 66.1		(80%) 59.5		(81%) 60.6	▲1.1	102%
	6	宮城	2.4	福岡	2.0	宮城	2.0	▲0.4	84%
	7	福岡	2.1	秋田	1.6	福岡	1.7	▲0.3	86%
	8	岐阜	1.6	熊本	1.5	山形	1.4	0.0	103%
	9	富山	1.4	岐阜	1.5	岐阜	1.3	▲0.2	89%
10	秋田	1.4	山形	1.3	秋田	1.1	▲0.5	68%	
1~10計		(92%) 75.1		(92%) 67.4		(92%) 68.1	0.7	101%	

資料) 全国集出荷団体調べ

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和6年産主食用もち米主産地の集荷数量(令和7年1月現在)

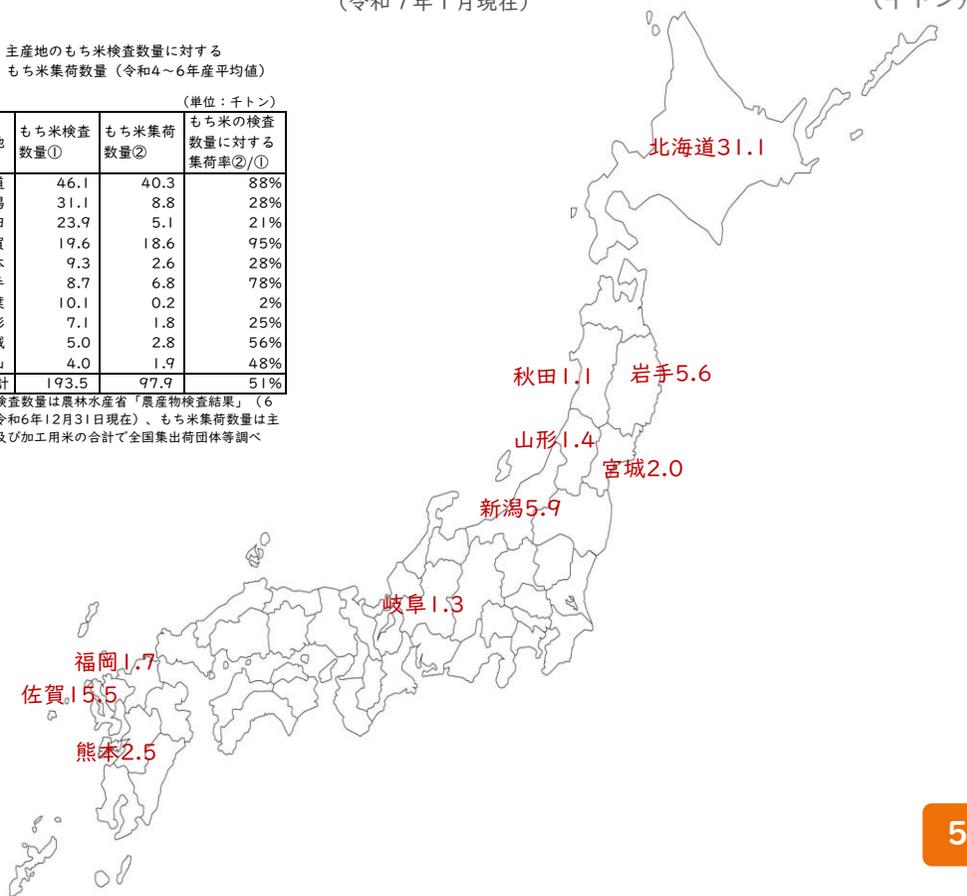
(千トン)

(参考) 主産地のもち米検査数量に対するもち米集荷数量(令和4~6年産平均値)

(単位：千トン)

産地	もち米検査数量①	もち米集荷数量②	もち米の検査数量に対する集荷率②/①
北海道	46.1	40.3	88%
新潟	31.1	8.8	28%
秋田	23.9	5.1	21%
佐賀	19.6	18.6	95%
熊本	9.3	2.6	28%
岩手	8.7	6.8	78%
千葉	10.1	0.2	2%
山形	7.1	1.8	25%
宮城	5.0	2.8	56%
富山	4.0	1.9	48%
全国計	193.5	97.9	51%

資料) 検査数量は農林水産省「農産物検査結果」(6年産は令和6年12月31日現在)、もち米集荷数量は主食用米及び加工用米の合計で全国集出荷団体等調べ



6 主食用もち米の契約栽培

- もち米は、その生産や需要の特性により、作付が変動して需給に不均衡を生じ易いことにかんがみ、昭和48年産米以降、全国集出荷団体ともち米需要者団体等の協議に基づく契約栽培を実施。
- 平成17年産米からは、平成15年産米の不作(作況90)を契機として、より一層の安定的なもち米の需要に応じた供給を図るため、3ヶ年を基本とした「複数年(播種前)契約」を導入。
- これに加え、もち米の販売は、もち米集荷が確実な数量から契約栽培数量を差し引いた残数量をもとに契約された「年間契約」と、当用購入等の対応をしている「スポット取引」の3つの方法で取引。
- 契約栽培と年間契約を合わせた契約販売数量は、全国集出荷団体集荷数量の約7割以上と安定した取引。

主食用もち米契約栽培の推移

(単位：千トン)

年産 契約年	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6	7	8
契約栽培 ①	平成24	49.6											
	25	3.2	48.8										
	26	13.7	6.4	46.1									
	27		7.2	4.3	44.3								
	28			11.0	6.3	50.4							
	29				7.9	3.5	43.4						
	30					6.8	8.0	45.6					
	令和元						6.2	4.8	46.4				
	2							7.5	4.8	48.9			
	3								5.6	3.0	49.3		
4									4.7	2.2	46.9		
5										4.3	3.2	47.2	
6											4.5	3.7	45.3
年間契約②	8.0	8.9	7.6	5.6	1.2	3.8	3.2	1.9	1.7	1.1			
①+②	74.5	71.3	69.0	64.1	62.0	61.5	61.1	58.8	58.3	56.9	54.5	50.8	45.3
集荷数量③	95.6	96.2	103.6	92.4	76.4	72.1	79.8	86.7	80.5	73.7	72.7		
(①+②)/③	78%	74%	67%	69%	81%	85%	77%	68%	72%	77%	75%		

(参考) 令和6年産主食用もち米契約栽培の経過

- 令和4年6月 第1回契約栽培数量の提示(全国集出荷団体→もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結(もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)
- 5年6月 第2回契約栽培数量の提示(全国集出荷団体→もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結(もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)
- 6年6月 第3回契約栽培数量の提示(全国集出荷団体→もち米需要者団体)
7月 // 申込及び契約締結(もち米需要者団体⇄全国集出荷団体)

(年間契約販売数量の提示については見合わせ)

資料) 全国集出荷団体調べ

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

7 主食用もち米の販売・購入

○ 全国集出荷団体の主食用もち米の年間販売数量は約8万トン。月別にはお正月需要に向けた10月～12月の販売数量が多く、都道府県別にはもち加工製造企業の本社所在地の東京、北海道、新潟などで多い。

○ 令和6米穀年度もち米需要団体別販売数量は、卸団体約5万トン、餅・加工米飯団体約1万トン、米菓・米穀粉団体約1万トン。

主食用もち米の月別販売数量

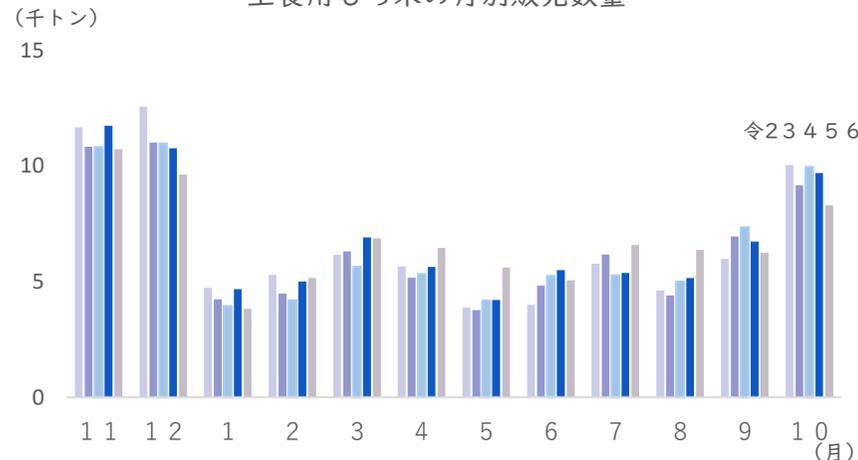
(単位：千トン)

米穀年度 月	令和6米穀年度		5		4		3		2	
	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比	販売数量	対前年比
1 1	10.7	91%	11.7	108%	10.8	100%	10.8	93%	11.7	96%
1 2	9.6	89%	10.8	98%	11.0	100%	11.0	88%	12.6	105%
1	3.8	82%	4.7	118%	4.0	93%	4.2	90%	4.7	118%
2	5.2	103%	5.0	120%	4.2	94%	4.5	85%	5.3	105%
3	6.9	99%	6.9	122%	5.6	89%	6.3	102%	6.2	46%
4	6.5	115%	5.6	106%	5.3	103%	5.2	91%	5.7	107%
5	5.6	133%	4.2	101%	4.2	111%	3.8	97%	3.9	80%
6	5.1	92%	5.5	105%	5.2	109%	4.8	121%	4.0	101%
7	6.6	123%	5.4	102%	5.3	86%	6.2	107%	5.8	130%
8	6.4	124%	5.2	103%	5.0	114%	4.4	95%	4.6	101%
9	6.3	93%	6.7	92%	7.4	106%	7.0	116%	6.0	108%
10	8.3	85%	9.7	97%	10.0	109%	9.2	91%	10.0	61%
合計	80.9	99%	81.4	104%	78.0	101%	77.3	96%	80.4	87%

資料) 全国集出荷団体調べ

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

主食用もち米の月別販売数量



主食用もち米の都道府県別販売数量

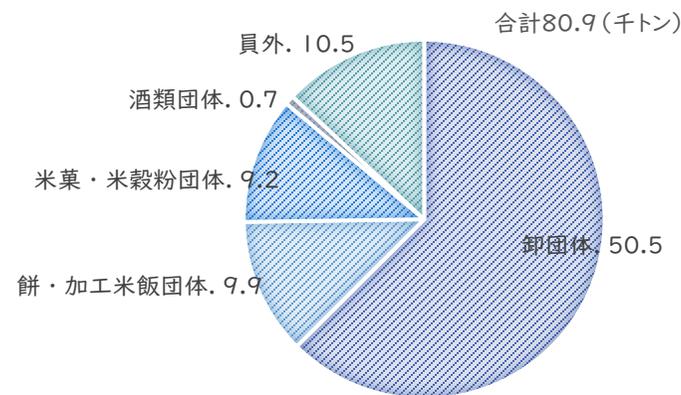
(単位：千トン)

区分	令和6米穀年度		5		4		3		2		
	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	都道府県	販売数量	
全国計		(100%) 80.9		(100%) 81.4		(100%) 78.0		(100%) 77.3		(100%) 80.4	
順	1	東京	18.0	東京	18.3	東京	17.1	新潟	19.5	新潟	20.3
	2	北海道	15.6	新潟	18.0	新潟	15.4	東京	16.4	東京	17.1
	3	新潟	14.1	北海道	10.9	北海道	10.2	北海道	8.1	北海道	8.5
	4	兵庫	6.7	兵庫	6.2	愛知	6.5	愛知	6.1	兵庫	5.7
	5	愛知	6.0	愛知	5.9	兵庫	6.0	兵庫	5.3	愛知	5.6
位	1~5計		(75%) 60.4		(73%) 59.2		(71%) 55.1		(72%) 55.5		(71%) 57.3
	6	神奈川	2.1	神奈川	2.0	神奈川	2.3	神奈川	2.1	神奈川	2.3
	7	岐阜	1.6	佐賀	1.9	熊本	1.6	佐賀	1.8	岐阜	1.8
	8	佐賀	1.3	岐阜	1.7	岐阜	1.6	岐阜	1.7	栃木	1.7
	9	福岡	1.1	熊本	1.5	栃木	1.5	栃木	1.5	熊本	1.6
10	栃木	1.1	富山	1.4	山形	1.5	山形	1.3	富山	1.5	
1~10計		(84%) 67.6		(83%) 67.8		(82%) 63.6		(83%) 63.9		(82%) 66.1	

資料) 全国集出荷団体調べ(販売先都道府県は本社所在地で集計)

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

令和6米穀年度もち米需要団体別販売数量



資料) 全国集出荷団体調べ

8 加工用もち米等の生産・流通

○ 加工米飯、米穀粉、米菓等の用途に供する目的で生産・流通する加工用米のうち、もち米は令和5年産71千トン、令和6年産(計画)69千トン。

○ 米粉用や輸出用等の新規需要米(除く飼料用米)のうち、もち米は令和5年産で2千トン。

加工用もち米・新規需要もち米の生産・流通 (単位：千トン)

年産	加工用米				新規需要米(除く飼料用米)				
	うるち米①	もち米②	計③	②/③	うるち米④	もち米⑤	醸造用⑥	計⑦	⑤/⑦
平成26	232	34	266	13%	27	1	4	32	3%
27	205	48	253	19%	30	1	7	38	3%
28	219	59	278	21%	26	2	7	34	5%
29	216	64	279	23%	34	2	7	43	5%
30	222	53	274	19%	45	2	0	47	4%
令和元	204	49	253	19%	48	2	0	50	4%
2	194	49	243	20%	61	2	3	66	3%
3	195	67	262	26%	74	3	2	78	4%
4	201	70	271	26%	80	3	3	86	4%
5	195	71	266	27%	85	2	3	90	2%
6	208	69	277	25%					

資料) 農林水産省 加工用米は「加工用米生産量」、新規需要米は「新規需要米の生産量」(令和6年産は取組計画認定状況(9月15日現在))

注) ラウンドの関係で計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 加工用米制度

加工用米とは、お酒、加工米飯、味噌、米菓等、以下の用途に供給することを目的として生産される米穀であり、非主食用として取り扱われ、水田活用の直接支払交付金の戦略作物助成の対象作物に該当し、10アール当たり2万円の助成を受けることができる。

- ① 清酒、焼酎、その他米穀を原料とする酒類
- ② 加工米飯(肉又は魚、甲殻類、軟体動物その他の水生動物の混入割合が3%以上である密封包装したレトルト米飯、冷凍米飯等であって、2ヶ月以上の保存に耐えられるもの)
- ③ 味噌、その他米穀を原料とする調味料
- ④ 米穀粉、玄米粉、その他これらに類するもの
- ⑤ 米菓、その他米穀を原料又は材料とする菓子
- ⑥ 玄米茶、ビタミン強化米、甘酒、アルファ化米又はアルファ化米を原料とする製品、漬物もろみ、朝食シリアル、乳児食、ライス・スターチ、いり玄米スープ、包装もち、水産練製品及び米穀粉混入製品
- ⑦ その他農産局長が特に必要と認めた用途

加工用米の生産に当たっては、全国生産出荷団体等の加工用米取組主体は、加工用米需要者団体等からの購入計画等を基に作成した「加工用米の生産に係る取組計画認定申請書」を国に提出し、毎年度、その取組計画について認定を受けることとなっている。

なお、加工用米需要者は主食用米からの置き換えて加工用米を使用することは認められていない。

令和6年産加工用米の都道府県別の取組計画認定状況(9月15日現在)

産地	作付面積(ha)			生産数量見込み(トン)		
	うるち米	もち米	合計	うるち米	もち米	合計
全国	37,970	12,227	50,197	208,354	69,020	277,373
北海道	4,608	2,192	6,800	25,985	12,464	38,448
青森	611	69	680	3,873	424	4,298
岩手	1,021	256	1,277	5,624	1,394	7,018
宮城	760	185	945	4,175	1,000	5,174
秋田	4,915	3,504	8,419	28,512	20,600	49,112
山形	3,862	447	4,309	23,274	2,610	25,884
福島	381	48	429	2,123	286	2,409
茨城	1,227	64	1,291	6,558	339	6,897
栃木	1,860	52	1,912	10,150	270	10,419
群馬	1,355		1,355	6,816		6,816
埼玉	144		144	726		726
千葉	1,218	854	2,072	6,707	4,769	11,476
東京都						
神奈川県						
新潟	3,836	2,924	6,760	21,284	16,185	37,469
富山	846	297	1,143	4,621	1,594	6,215
石川	403	126	529	2,182	699	2,881
福井	403	90	493	2,105	471	2,576
山梨	67	1	68	369	4	373
長野	723	33	756	4,450	207	4,657
岐阜	1,138	1	1,139	5,406	6	5,412
静岡	99		99	514		514
愛知	602	48	650	3,060	220	3,280
三重	162	13	176	816	67	883
滋賀	428	78	505	2,209	407	2,616
京都	527	3	530	2,666	15	2,682
大阪	0		0	1		1
兵庫県	612	55	667	3,092	280	3,372
奈良	11		11	57		57
和歌山						
鳥取	17		17	88		88
島根	179	21	200	947	104	1,051
岡山	263	18	281	1,443	90	1,533
広島	336	22	358	1,781	119	1,900
山口	954	18	972	4,922	91	5,013
徳島	19	0	19	89	2	92
香川	53		53	261		261
愛媛	45		45	224		224
高知	83		83	410		410
福岡	114	100	214	573	520	1,093
佐賀	20	356	376	107	1,947	2,054
長門	5		5	27		27
熊本	333	335	667	1,787	1,748	3,535
大分	159		159	771		771
宮崎	2,108		2,108	10,591		10,591
鹿児島	1,425	17	1,443	6,910	87	6,997
沖縄	40		40	67		67

資料) 農林水産省「令和6年産加工用米の取組計画認定状況」

注) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

9 加工原材料米穀の使用状況

- 近年の日本酒、米菓、米穀粉などの加工原材料用米穀の使用量は、うるち米約70万トン、もち米約20万トン。
- 令和3米穀年度加工原材料用もち米使用量は、制度別には国内産原材料の主食用米7万トン、加工用米5万トン、特定米穀2万トンで、さらに外国産原材料のMA米1万トン、輸入米粉調製品4万トン。
- 用途別には、包装もち8万トン、米菓6万トン、米穀粉2万トン、加工米飯1万トン、その他2万トン。

加工原材料用米穀の使用状況（推計）

（単位：万玄米トン）

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉 調製品	制度別計
日本酒	29	12(10)	9		3			24(10)
	30	11(9)	9		4			24(9)
	元	11(9)	9		3			23(9)
	2	9(8)	8		3			21(8)
	3	9(7)	6		3			18(7)
米菓	29	1	2		4	5	1	13
	30	1	1		5	5	2	13
	元	1	2		5	3	2	13
	2	1	1		6	3	2	13
	3	1	2		5	3	2	12
加工米飯 (無菌包装 米飯除く)	29	5	5					11
	30	5	6					11
	元	4	7					11
	2	4	6					10
	3	2	8					10
味噌	29		1		2	7		10
	30		1		2	7		10
	元		1		3	5		10
	2		1		3	5		10
	3		1		4	4		9
焼酎 (泡盛含 む)	29		2		3	2		8
	30		2		3	2		7
	元		1		4	2		7
	2		1		4	2		7
	3		1		3	1		6
米穀粉	29		1	2	1	2	1	8
	30		1	3	1	2	1	8
	元		1	3	1	2	1	9
	2		1	3	1	2	1	9
	3		1	4	1	2	1	8
その他	29		1		1	1		4
	30		1	2	1	1		4
	元		1		1	1		4
	2		1	2	1	1		4
	3		1	1	1	1		4
用途別計	29	19(10)	22	2	15	18	2	78(10)
	30	18(9)	21	3	16	16	3	77(9)
	元	16(9)	22	3	18	13	3	76(9)
	2	15(8)	20	3	18	13	3	72(8)
	3	12(7)	20	4	17	11	3	67(7)

（2 もち米）

（単位：万玄米トン）

用途	米穀年度	主食用米	加工用米	新規需要米 (米粉用米)	特定米穀	MA米	輸入米粉 調製品	制度別計
包装もち	29	3	3				1	8
	30	2	3				1	7
	元	3	3				1	8
	2	4	3				1	8
	3	4	3				1	8
米菓	29	1	2		1	1	1	6
	30	1	2		1	1	1	6
	元	1	2		1	1	1	6
	2	1	2		1	1	1	6
	3	1	2		2		1	6
米穀粉	29	1	1				1	3
	30	1	1				1	3
	元	1	1				1	3
	2	1	1				1	3
	3	1	1				1	2
加工米飯 (無菌包装 米飯除く)	29	1						1
	30	1						1
	元	1						1
	2	1						1
	3	1						1
その他	29						1	2
	30						1	2
	元						1	2
	2						1	2
	3						1	2
用途別計	29	6	6		1	2	5	19
	30	6	6		1	1	5	19
	元	6	5		1	2	5	19
	2	6	5		2	1	4	19
	3	7	5		2	1	4	19

資料）農林水産省「米に関するマンスリーレポート」、（ ）内は酒造好適米で内数である。

- 注1）加工用米飯は、レトルト米飯用、冷凍米飯用などとして使用される原料米の使用量であり、無菌包装米飯用として使用される原料米を含んでいない。
- 2）焼酎は、単式蒸留焼酎で、泡盛用の原料米を含んでいる。
- 3）その他には、玄米茶、みりん用、朝食用シリアなどがある。
- 4）特定米穀とは、水稲収穫量調査で使用するふるい目1.7mmと農家が出荷の際に使用する1.75～1.9mmの間の「ふるい下米」と、1.7mm未満の小さな粒の米（一般的に「くず米」と呼ばれているもの）の総称。
- 5）ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

10 米穀粉の生産

○ 令和6年の米菓や和菓子の原料となる米穀粉生産量約103千トンのうち、もち米を原料とするもち粉約1万トン、白玉粉約4千トン、寒梅粉約1.5千トン、らくがん粉・みじん粉約1千トン。

○ 令和5年の米穀粉製造業者31社のもち米等原料使用実績は約1万トンで、原料米に占めるもち米等使用比率は17%。

米穀粉の生産量

(単位：トン、%)

年	米穀粉計		上新粉		もち粉		白玉粉		寒梅粉		らくがん・みじん粉		だんご粉		菓子種		新規米粉	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成27	94,651	6.8	46,260	5.0	11,583	1.1	4,974	9.3	1,468	▲3.2	1,007	17.1	962	12.1	2,448	38.0	25,949	10.4
28	92,693	▲2.1	46,377	0.3	10,755	▲7.1	4,992	0.4	1,606	9.4	971	▲3.6	1,543	60.4	1,756	▲28.3	24,693	▲4.8
29	94,860	2.3	47,257	1.9	9,592	▲10.8	5,246	5.1	1,535	▲4.4	945	▲2.7	1,166	▲24.4	2,419	37.8	26,700	8.1
30	93,956	▲1.0	45,643	▲3.4	9,663	0.7	4,821	▲8.1	1,534	▲0.1	984	4.1	1,310	12.3	2,506	3.6	27,495	3.0
令和元	91,179	▲3.0	43,345	▲5.0	9,406	▲2.7	4,742	▲1.6	1,560	1.7	1,120	13.8	1,159	▲11.5	2,508	0.1	27,339	▲0.6
2	91,076	▲0.1	40,559	▲6.4	8,280	▲12.0	4,851	2.3	1,485	▲4.8	1,013	▲9.6	1,114	▲3.9	2,528	0.8	31,246	14.3
3	84,964	▲6.7	35,918	▲11.4	8,812	6.4	4,062	▲16.3	1,492	0.5	993	▲2.0	1,016	▲8.8	2,183	▲13.6	30,488	▲2.4
4	92,470	8.8	42,676	18.8	9,683	9.9	4,068	0.1	1,507	1.0	1,008	1.5	1,042	2.6	1,885	▲13.7	30,601	0.4
5	96,998	4.9	42,984	0.7	9,728	0.5	4,282	5.3	1,535	1.9	732	▲27.4	1,002	▲3.8	1,947	3.3	34,787	13.7
6	102,740	5.9	43,007	0.1	10,499	7.9	4,181	▲2.4	1,491	▲2.9	769	5.1	995	▲0.7	2126	9.2	39,672	14.0

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」



桜餅 (関東風、もち粉、みじん粉、白玉粉、関西風、道明寺粉を使用)
資料) 全国穀類工業協同組合

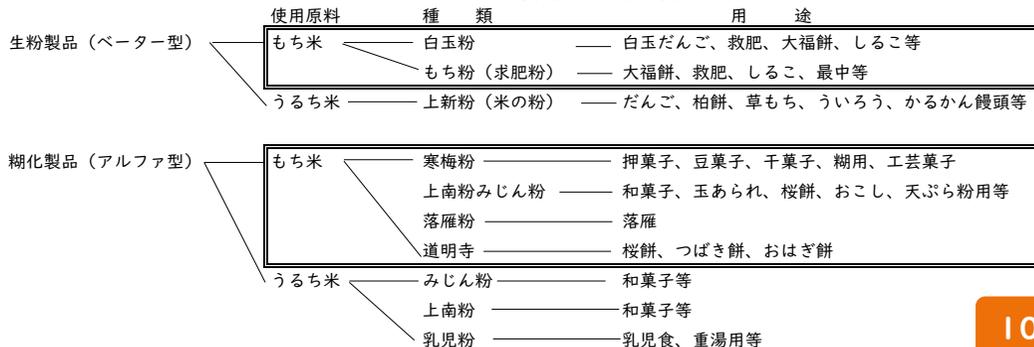
(参考) 米穀粉製造業の原料米使用実績

	令和5年(31社、市場シェア46%推計)		平成30年(29社、市場シェア41%推計)	
	計	構成比	計	構成比
原料米等計	74,260	100.0%	64,589	100.0%
もち米	12,755	17.2%	11,791	18.3%
国内産米	10,362	14.0%	8,731	13.5%
外国産米	1,891	2.5%	2,309	3.6%
輸入米粉調製品	502	0.7%	752	1.2%
うるち米	61,505	82.8%	52,798	81.7%
国内産米	51,737	69.7%	39,609	61.3%
外国産米	9,714	13.1%	12,914	20.0%
輸入米粉調製品	54	0.1%	276	0.4%

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

注) 農林水産省「食品産業動態調査」の原料米使用実績は、各年の調査対象(回答)業者が異なる場合があるため、調査結果の連続性に留意。

米粉の種類と主な製品



資料) 全国穀類工業協同組合「米穀粉」

11 加工米飯の生産

- 令和6年の加工米飯の生産量は、消費者の食品に対する簡便化ニーズ等により年々増加し、約47万トン。
- 令和5年の加工米飯製造業者6社の赤飯などのもち米等原材料用使用量は約2千トンで、原料米に占めるもち米使用比率は31%。

加工米飯の生産量

(単位：トン、%)

年	無菌包装米飯		冷凍米飯		レトルト米飯		乾燥米飯		チルド米飯		缶詰米飯		加工米飯計	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成27	136,886	0.6	171,501	7.2	30,685	▲7.8	4,493	▲4.1	4,765	▲11.1	1,094	▲9.7	349,424	2.6
28	145,326	6.2	163,017	▲4.9	27,856	▲9.2	5,050	12.4	4,916	3.2	543	▲50.4	346,708	▲0.8
29	161,068	10.8	174,025	6.8	27,807	▲0.2	4,884	▲3.3	4,832	▲1.7	526	▲3.1	373,142	7.6
30	170,218	5.7	181,559	4.3	28,163	1.3	4,832	▲1.1	4,845	0.3	553	5.1	390,170	4.6
令和元	182,797	7.4	178,068	▲1.9	27,474	▲2.4	5,365	11.0	4,520	▲6.7	526	▲4.9	398,750	2.2
2	197,185	7.9	171,307	▲3.8	27,245	▲0.8	4,654	▲13.3	3,894	▲13.8	422	▲19.8	404,707	1.5
3	206,179	4.6	166,099	▲3.0	27,885	2.3	4,825	3.7	3,624	▲6.9	422	0.0	409,034	1.1
4	213,376	3.5	174,158	4.9	32,435	16.3	5,285	9.5	3,245	▲10.5	451	6.9	428,950	4.9
5	208,654	▲2.2	181,357	4.1	41,713	28.6	5,063	▲4.2	2,885	▲11.1	395	▲12.4	440,068	2.6
6	216,270	3.7	200,050	10.3	46,534	11.6	5,614	10.9	2,895	0.3	402	1.8	471,765	7.2

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」



資料) 全国米穀販売事業共済協同組合(ごはん彩々)ホームページ

(参考) 加工米飯製造業の原料米使用実績 (単位：トン、%)

	令和5年(6社、市場シェア20%推計)		平成30年(8社、市場シェア27%推計)	
	計	構成比	計	構成比
原料米計	7,678	100.0%	43,715	100.0%
もち米計	2,369	30.9%	2,613	6.0%
国内産米	2,369	30.9%	2,253	5.2%
外国産米	0	0.0%	360	0.8%
うるち米計	5,309	69.1%	41,102	94.0%
国内産米	5,309	69.1%	41,102	94.0%
外国産米	0	0.0%	0	0.0%

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

注) 農林水産省「食品産業動態調査」の原料米使用実績は、各年の調査対象(回答)業者が異なる場合があるため、調査結果の連続性に留意。

(参考)

加工米飯の種類

レトルト米飯： 調理されたご飯を、空気が入らない密閉容器に入れ、高温加熱殺菌したもので、常温で6ヶ月～1年保存できる。白ごはんのほか赤飯、炊き込みご飯、おかゆ、雑炊などがある。

無菌包装米飯： 無菌設備の下、炊きたてのご飯を密閉容器に入れたもので、常温で6ヶ月保存できる。外見はレトルトご飯に似ているが、熱を加えずに包装するので味も良く普通のご飯とほとんど変わらないと言われている。

冷凍米飯： 調理したご飯を-40℃以下で急速冷凍したもので、-18℃で1年間保存できる。ピラフ、チャーハン、焼きおにぎりなどがあり、家庭での利用が増えている。

チルド米飯： 調理したご飯を包装した後殺菌し、利用するまで冷蔵庫で保存するもので、保存期間は2ヶ月くらい。主にデパートなどの食品売場で、出来たてを販売するおこわや赤飯などに利用されている。

缶詰米飯： 調理したご飯を缶に詰め、密閉して高温殺菌したもので、3年間保存できる。炊き込みご飯やおかゆなどがあり、非常食としても利用されている。

乾燥米飯： 調理したご飯を熱風などで急速乾燥させたもので、常温で3年間保存できる。軽くて持ち運びに便利のため、キャンプや登山、災害用非常食に利用される。



12 米菓の生産

- 令和6年の米菓の生産量は約22万トンで、そのうち、もち米を原料とするあられは、約40%の約9万トン。
- 令和5年の米菓製造業12社のもち米等原料使用実績は約15千トンで、原料米に占めるもち米使用比率は35%。

米菓の生産量

(単位：トン、%)

年	米菓計		あられ		せんべい	
	生産量	増減率	生産量	増減率	生産量	増減率
平成27	220,350	1.7	94,995	1.9	125,355	1.5
28	217,687	▲1.2	92,310	▲2.8	125,377	0.0
29	222,868	2.4	92,200	▲0.1	130,668	4.2
30	221,481	▲0.6	93,504	1.4	127,977	▲2.1
令和元	221,796	0.1	92,259	▲1.3	129,537	1.2
2	219,437	▲1.1	93,506	1.4	125,931	▲2.8
3	214,587	▲2.2	93,836	0.4	120,751	▲4.1
4	212,519	▲1.0	93,674	▲0.2	118,845	▲1.6
5	218,470	2.8	88,699	▲5.3	129,771	9.2
6	221,310	1.3	89,958	1.4	131,352	1.2

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」及び全日本菓子協会

(参考) 米菓製造業の原料米使用実績

	令和5年(12社、市場シェア27%推計)		平成30年(15社、市場シェア30%推計)	
	計	構成比	計	構成比
原料米等計	43,965	100.0%	46,873	100.0%
もち米等	15,426	35.1%	19,172	40.9%
国内産米	12,100	27.5%	14,217	30.3%
外国産米	849	1.9%	633	1.4%
米穀粉	722	1.6%	1,920	4.1%
輸入米粉調製品	1,756	4.0%	2,402	5.1%
うるち米等	28,539	64.9%	27,701	59.1%
国内産米	20,415	46.4%	16,200	34.6%
外国産米	1,343	3.1%	2,916	6.2%
米穀粉	5,996	13.6%	6,874	14.7%
輸入米粉調製品	785	1.8%	1,711	3.7%

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

注) 農林水産省「食品産業動態調査」の原料米使用実績は、各年の調査対象(回答)業者が異なる場合があるため、調査結果の連続性に留意。

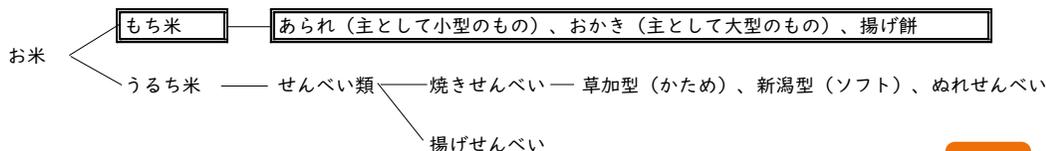


全国米菓工業組合 www.arare-osenbei.jp 後援/農林水産省 協賛/全農・全米連

全国米菓工業組合 www.arare-osenbei.jp 後援/農林水産省 協賛/全農・全米連

米菓の分類

米菓とはお米から作ったお菓子の総称となりますが、米菓は原料により製造工程が異なり特徴も違います。もち米を原料とする米菓を一般的には「あられ」「おかき」といわれ、食感がソフトで、ロトけが良いのが特徴です。うるち米を原料とする米菓は、「おせんべい」といわれ、様々な食感のものがあります。



資料) 全国米菓工業協同組合ホームページ

13 包装もちの生産

- 令和6年の包装もちの生産量は約68千トンで、過去最高の生産量だった令和5年から約4%減。
- 令和4年の包装もち製造業17社のもち米等原料使用実績は約5万トン。

包装もちの生産量

(単位：トン)

年	生切り(丸)もち	鏡もち	その他	包装もち計	増減率:%
平成27	52,934	5,068	930	58,931	0.5
28	57,665	4,644	786	63,095	7.1
29	53,343	4,422	870	58,635	▲7.0
30	57,084	4,305	893	62,282	6.2
令和元	58,076	3,881	764	62,721	0.7
2	64,929	3,674	737	69,340	10.6
3	62,620	3,966	847	67,433	▲2.8
4	63,152	3,767	776	67,696	0.4
5	66,247	3,844	720	70,811	4.6
6	64,212	3,180	756	68,149	▲3.9

資料：全国餅工業協同組合調べ

注1) その他は、殺菌切りもち、冷凍もち、板もちなどがある。

2) ラウンドの関係で合計と内訳が一致しない場合がある。

(参考) 包装もち製造業の原料米使用実績

(単位：トン、%)

	令和4年(17社、市場シェア91%推計)		平成29年(17社、市場シェア91%推計)	
	計	構成比	計	構成比
もち米等計	50,615	100.0	49,815	100.0
国内産米	50,254	99.3	48,866	98.1
外国産米	0	0.0	131	0.3
輸入米粉調製品	361	0.7	818	1.6

資料) 農林水産省「食品産業動態調査」

注) 農林水産省「食品産業動態調査」の原料米使用実績は、各年の調査対象(回答)業者が異なる場合があるため、調査結果の連続性に留意。

(参考)

包装もちの種類

各種の包装もちは、餅搗きまでの工程(原料米→異物選別→洗米→浸漬→水切り→蒸米→粗ねり→餅搗き)は同様であるが、その後の検査・検品までの工程の違いにより、以下のとおりに分類されている。

板もち : (餅搗き) → 計量袋詰 → 脱気包装 → 加熱殺菌 → 冷却 → (検査・検品)

殺菌切りもち : (餅搗き) → 成型 → 冷蔵固化 → 切断 → 真空包装 → 加熱殺菌
→ 冷却固化 → 袋詰め → (検査・検品)

生切り(丸)もち : (餅搗き) → 成型 → 冷蔵固化 → (切断) → (個包装) → 袋詰め
→ (検査・検品)

鏡もち : 上下一体パック鏡もちは、充填式と個包装(切り餅、丸餅)入りがある。

冷凍もち : (餅搗き) → 成型 → 軽く固化 → 切断 → 急速冷凍 → 計量・包装
→ (検査・検品)

10月10日は「おもちの日」



【国内産水稲もち米100%使用】



資料) 全国餅工業協同組合

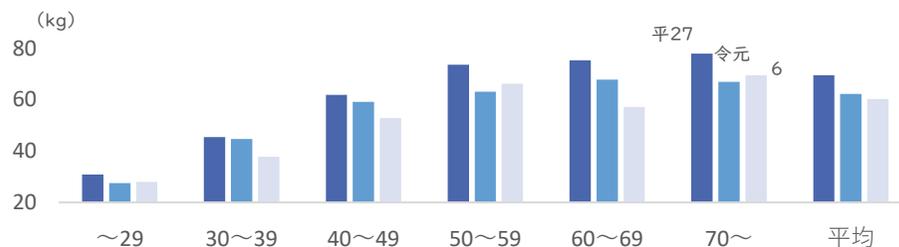
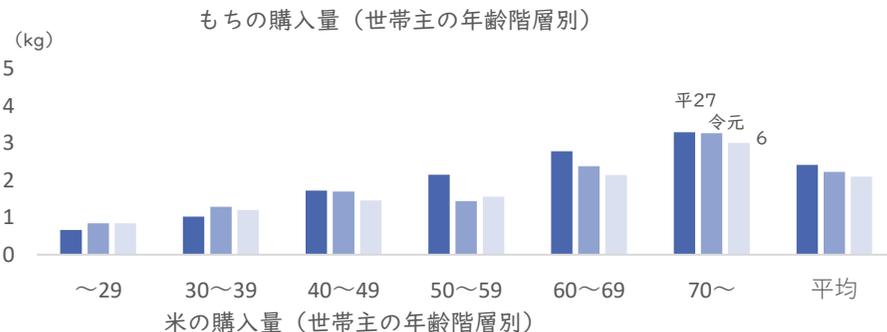
14 もちの消費(年間購入量)

- 令和6年の一世帯当たりもちの年間購入量は約2.1kg、支出金額は約1.7千円と過去10年間緩やかに減少。
- 世帯主の年齢階層ごとのもちの年間購入量を10年前と比べると、世代間でバラツキが見られるが、年齢が上がるとともに購入量が多い傾向。

一世帯当たりのもち及び米の年間支出金額、購入量

年	平均世帯人員①	もち支出金額② (円、税込)	もち購入量③ (g)	②/③ ×100 (円/100g)	米支出金額④ (円、税込)	米購入量⑤ (kg)	④/⑤ (円/kg)
平成27	3.02	1,911	2,417	79.09	22,981	69.51	330.64
28	2.99	1,858	2,459	75.56	23,522	68.74	342.19
29	2.98	1,855	2,423	76.53	23,681	67.27	352.02
30	2.98	1,699	2,250	75.54	24,314	65.75	369.83
令和元	2.97	1,726	2,229	77.45	23,212	62.20	373.22
2	2.95	1,829	2,389	76.57	23,920	64.53	370.71
3	2.93	1,726	2,125	81.23	21,862	60.80	395.55
4	2.91	1,703	2,242	75.96	19,825	57.38	345.49
5	2.90	1,676	2,120	79.06	20,397	56.65	360.03
6	2.88	1,730	2,095	82.58	27,196	60.20	451.76
令6/平27	-	90.5%	86.7%	104.4%	118.3%	86.6%	136.6%

資料) 総務省「家計調査(二人以上の世帯)」



もち及び米の購入量(世帯主の年齢階層別) (単位: kg)

		~29歳	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	平均
もち	平27	0.66	1.02	1.72	2.15	2.78	3.29	2.42
	令元	0.85	1.29	1.70	1.44	2.38	3.27	2.23
	6	0.84	1.20	1.46	1.56	2.14	3.00	2.10
米	平27	30.81	45.43	61.90	73.58	75.35	77.87	69.51
	令元	27.47	44.70	59.11	63.05	67.72	66.90	62.20
	6	28.02	37.81	52.82	66.13	57.21	69.51	60.20

資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」



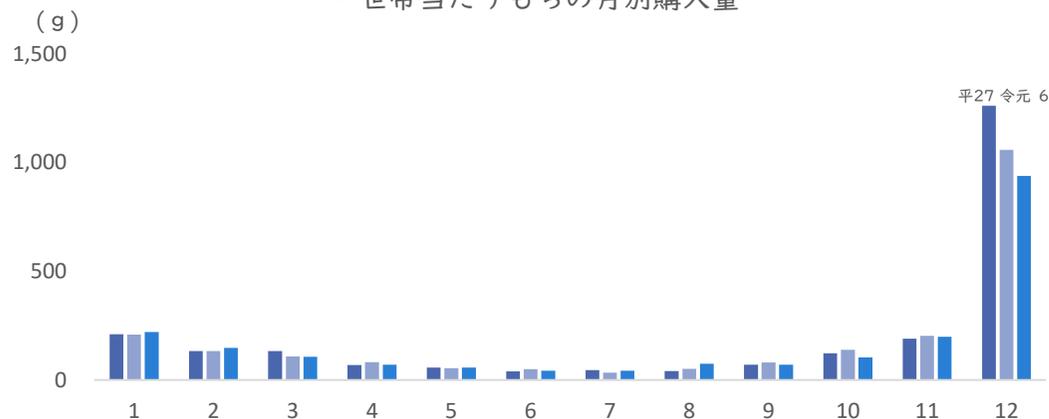
資料) 全国農業協同組合連合会ホームページ

15 もちの消費(月別、地域別購入量)

○もちの月別購入量は、お正月に備えた12月の購入が最大で、購入の少ない夏期の20倍以上と季節変動が大きい。

○もちの地域別購入量は、金沢市、富山市、新潟市などで多い一方、高知市、那覇市、宮崎市などでは少ない。

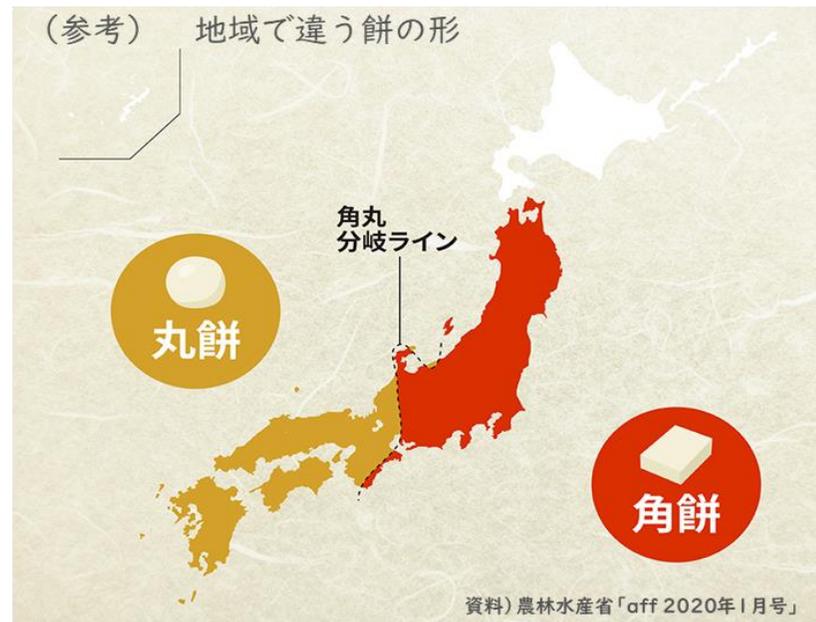
一世帯当たりもちの月別購入量



一世帯当たりもちの月別購入量 (単位：g)

年	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	年
平27		211	133	133	69	57	40	46	41	71	123	190	1,261	2,417
令元		209	133	108	82	54	50	34	51	80	139	203	1,059	2,229
6		221	148	107	70	57	43	42	75	70	104	199	939	2,095

資料) 総務省「家計調査(二人以上の世帯)」



資料) 農林水産省「off 2020年1月号」

地域別一世帯当たりのもち購入量

(単位：g)

1 金沢市 3,212	11 山形市 2,441	21 さいたま市 2,187	30 北九州市 2,025	40 徳島市 1,725	50 宮崎市 1,378
2 富山市 2,959	12 水戸市 2,423	22 大阪市 2,185	31 和歌山市 1,984	41 岡山市 1,709	51 那覇市 1,328
3 新潟市 2,930	13 札幌市 2,386	23 仙台市 2,166	32 京都市 1,976	42 佐賀市 1,672	52 高知市 1,054
4 福井市 2,779	14 奈良市 2,351	24 鹿児島市 2,161	33 福島市 1,905	43 高松市 1,664	
5 千葉市 2,698	15 岐阜市 2,342	○ 全国平均 2,152	34 盛岡市 1,867	44 長崎市 1,519	
6 堺市 2,670	16 川崎市 2,311	25 静岡市 2,145	35 福岡市 1,844	45 広島市 1,498	
7 津市 2,635	17 横浜市 2,283	26 甲府市 2,136	36 神戸市 1,823	46 大分市 1,481	
8 相模原市 2,632	18 東京都区部 2,273	27 前橋市 2,113	37 熊本市 1,809	47 秋田市 1,469	
9 長野市 2,601	19 宇都宮市 2,240	28 鳥取市 2,109	38 松江市 1,782	48 山口市 1,463	
10 名古屋市 2,601	20 浜松市 2,208	29 大津市 2,092	39 松山市 1,778	49 青森市 1,459	

資料) 「家計調査(二人以上の世帯) 品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング (2022年(令和4年)~2024年(令和6年)平均)」

16 せんべい(あられを含む)の支出金額

- 一世帯当たりのせんべい(あられを含む。)の年間支出金額は約7千円で、菓子類支出額の6～7%を占める。
- 世帯主の年齢階層ごとのせんべいの支出金額は、令和6年は各年齢層で増加し、年齢が上がると支出金額も増加傾向。

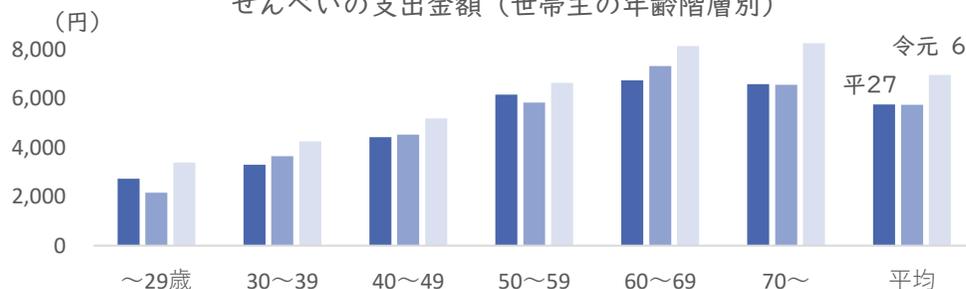
せんべいの支出金額 (単位：円、税込み)

	菓子類計①	せんべい②	②/①
平成27	83,027	5,759	6.9%
28	83,472	5,825	7.0%
29	83,087	5,805	7.0%
30	83,916	5,757	6.9%
令和元	87,469	5,869	6.7%
2	85,534	5,682	6.6%
3	88,195	5,719	6.5%
4	94,373	5,948	6.3%
5	99,520	6,531	6.6%
6	104,417	6,966	6.7%

資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」

注) 家計調査の「せんべい」には、米粉又は小麦粉を主原料として焼く又は揚げたものや砂糖、卵、水あめなどを加えたものも含まれ、かきもち、あられ、かわらせんべいなどが含まれている。

せんべいの支出金額(世帯主の年齢階層別)



せんべいの支出金額(世帯主の年齢階層別) (単位：円)

	～29歳	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	平均
平27	2,739	3,306	4,431	6,161	6,752	6,589	5,759
令和元	2,160	3,654	4,529	5,843	7,328	6,565	5,757
6	3,395	4,266	5,200	6,651	8,148	8,260	6,966

資料) 総務省「家計調査(二人以上世帯)」

(参考) いろいろなあられ



地域別一世帯当たりのせんべいの支出金額

1 山形市	9,079	11 横浜市	7,477	21 相模原市	6,957	30 前橋市	6,394	40 札幌市	4,960	50 佐賀市	4,151
2 水戸市	9,013	12 千葉市	7,474	22 仙台市	6,901	31 浜松市	6,071	41 宮崎市	4,793	51 高知市	4,144
3 富山市	8,557	13 東京都区部	7,429	23 新潟市	6,882	32 秋田市	6,004	42 松山市	4,776	52 那覇市	3,052
4 奈良市	8,111	14 京都市	7,328	24 静岡市	6,695	33 鳥取市	5,912	43 和歌山市	4,737		
5 宇都宮市	8,009	15 さいたま市	7,324	25 大阪市	6,678	34 山口市	5,702	44 大分市	4,700		
6 福井市	7,989	16 大津市	7,323	26 堺市	6,657	35 松江市	5,457	45 広島市	4,617		
7 福島市	7,749	17 川崎市	7,165	27 神戸市	6,560	36 徳島市	5,337	46 鹿児島市	4,386		
8 津市	7,638	18 金沢市	7,090	28 高松市	6,509	37 甲府市	5,291	47 長崎市	4,383		
9 岐阜市	7,572	19 名古屋市	7,060	○ 全国平均	6,482	38 岡山市	5,166	48 熊本市	4,274		
10 盛岡市	7,566	20 長野市	6,982	29 青森市	6,469	39 北九州市	5,146	49 福岡市	4,236		

資料) 「家計調査(二人以上の世帯) 品目別都道府県庁所在市及び政令指定都市ランキング(2022年(令和4年)～2024年(令和6年)平均)」

資料) 全国米菓工業組合ホームページ

17 令和6年産主食用もち米の集荷業者仮渡金事例(業界紙調べ)

主食用もち米の集荷業者仮渡金事例

(単位:円/60kg、1等、包装消費税込み)

産地	品種銘柄	3年産	4年産	対前年比	5年産	対前年比	6年産	対前年比
		①	②	(②-①)	③	(③-②)	④	(④-③)
北海道	水稻もち米	12,000	12,000	0	12,500	500	13,500	1,000
岩手	こがねもち(A地区)	12,000	12,500	500	13,000	500	16,800	3,800
宮城	みやこがねもち	13,000	13,500	500	14,000	500	16,300	2,300
秋田	水稻もち米	8,000	8,000	0	8,000	0	11,500	3,500
山形	ヒメノモチ	10,500	10,500	0	11,000	500	15,000	4,000
福島	こがねもち	9,500	10,500	1,000	11,500	1,000	14,000	2,500
茨城	水稻もち米	9,000	9,000	0	10,500	1,500	14,500	4,000
新潟	こがねもち(契約栽培)	16,400	16,400	0	16,600	200	17,000	400
	こがねもち(契約外)	12,000	9,000	▲3,000	10,500	1,500	12,000	1,500
富山	新大正糯	13,500	13,500	0	14,200	700	16,500	2,300
石川	水稻もち米	11,000	11,800	800	12,800	1,000	14,800	2,000
岐阜	たかやまもち(A地区)	15,100	15,200	100	15,300	100	16,600	1,300
(参考) 主食用うるち米								
北海道	ななつぼし	11,000	11,500	500	12,500	1,000	16,500	4,000
秋田	あきたここまち	10,600	11,100	500	12,100	1,000	16,800	4,700
山形	はえぬき	10,000	11,000	1,000	12,200	1,200	16,500	4,300
新潟	コシヒカリ(一般)	12,200	13,700	1,500	13,900	200	17,000	3,100

資料) 業界紙情報を整理したものである。

18 主食用もち米の契約栽培基準価格等

- 主食用もち米の契約栽培基準価格は、全国集出荷団体から収穫年の6月頃、もち米の需給状況等を踏まえて提示され、令和4年産まではおおむね安定していたが、令和5年産、令和6年産と連続して上昇。
- 全国集出荷団体による実際の主食用もち米価格は、出来秋時の作柄や需給状況を勘案し、契約栽培基準価格±5%の範囲内で複数年契約に係る販売価格が決定(年間固定価格)される。このほか、年間契約販売価格は 契約栽培基準価格や産地銘柄ごとの契約状況等を踏まえて決定、スポット取引販売価格は需要者との協議により個別に決定。

主食用もち米の契約栽培基準価格

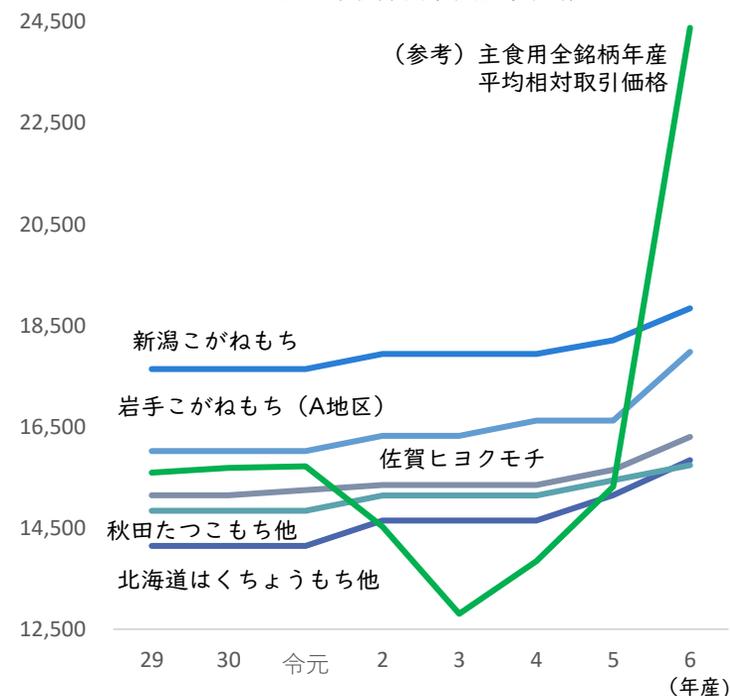
(単位：円/60kg、1等、裸、基準着地持込、税別)

産地	銘柄	基準着地	平成29年産	30	令和元	2	3	4	5	6
北海道	はくちょうもち・風の子もち・きたゆきもち・きたふくもち	東京	14,146	→ 14,146	→ 14,146	↗ 14,646	→ 14,646	→ 14,646	↗ 15,146	↗ 15,840
岩手	こがねもち (A地区)	東京	16,020	→ 16,020	→ 16,020	↗ 16,320	→ 16,320	→ 16,320	↗ 16,620	↗ 17,980
	ヒメノモチ	東京	14,840	→ 14,840	→ 14,840	↗ 15,140	→ 15,140	→ 15,140	↗ 15,440	↗ 16,800
宮城	みやこがねもち (一般地区)	東京	16,433	→ 16,433	→ 16,433	↗ 16,900	→ 16,900	→ 16,900	↗ 17,400	↗ 17,900
	みやこがねもち (特A地区)	東京	16,733	→ 16,733	→ 16,733	↗ 17,200	→ 17,200	→ 17,200	↗ 17,700	↗ 18,200
秋田	たつこもち・きぬのはだ	東京	14,840	→ 14,840	→ 14,840	↗ 15,140	→ 15,140	→ 15,140	↗ 15,440	↗ 15,740
山形	ヒメノモチ	東京	13,940	↗ 14,340	→ 14,340	↗ 14,640	→ 14,640	→ 14,640	↗ 14,940	-
新潟	こがねもち	東京	17,640	→ 17,640	→ 17,640	↗ 17,940	→ 17,940	→ 17,940	↗ 18,210	↗ 18,840
	わたぼうし	東京	15,340	↗ 15,840	→ 15,840	↗ 16,140	→ 16,140	→ 16,140	↗ 16,410	↗ 17,040
岐阜	たかやまもち	大阪	15,640	→ 15,640	→ 15,640	↗ 15,740	→ 15,740	→ 15,740	↗ 16,040	↗ 16,640
静岡	峰の雪もち	産地在姿	14,146	→ 14,146	→ 14,146	↗ 14,346	→ 14,346	→ 14,346	↗ 14,650	↗ 15,300
福岡	ヒヨクモチ	大阪	15,086	→ 15,086	→ 15,086	↗ 15,206	→ 15,206	→ 15,206	↗ 15,450	↗ 16,250
佐賀	ヒヨクモチ	大阪	15,146	→ 15,146	↗ 15,246	↗ 15,346	→ 15,346	→ 15,346	↗ 15,650	↗ 16,300
熊本	ヒヨクモチ	大阪	14,646	→ 14,646	→ 14,646	↗ 14,846	→ 14,846	→ 14,846	↗ 15,010	↗ 16,000
	峰の雪もち	大阪	14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	→ 14,246	-	-

資料) 全国集出荷団体資料

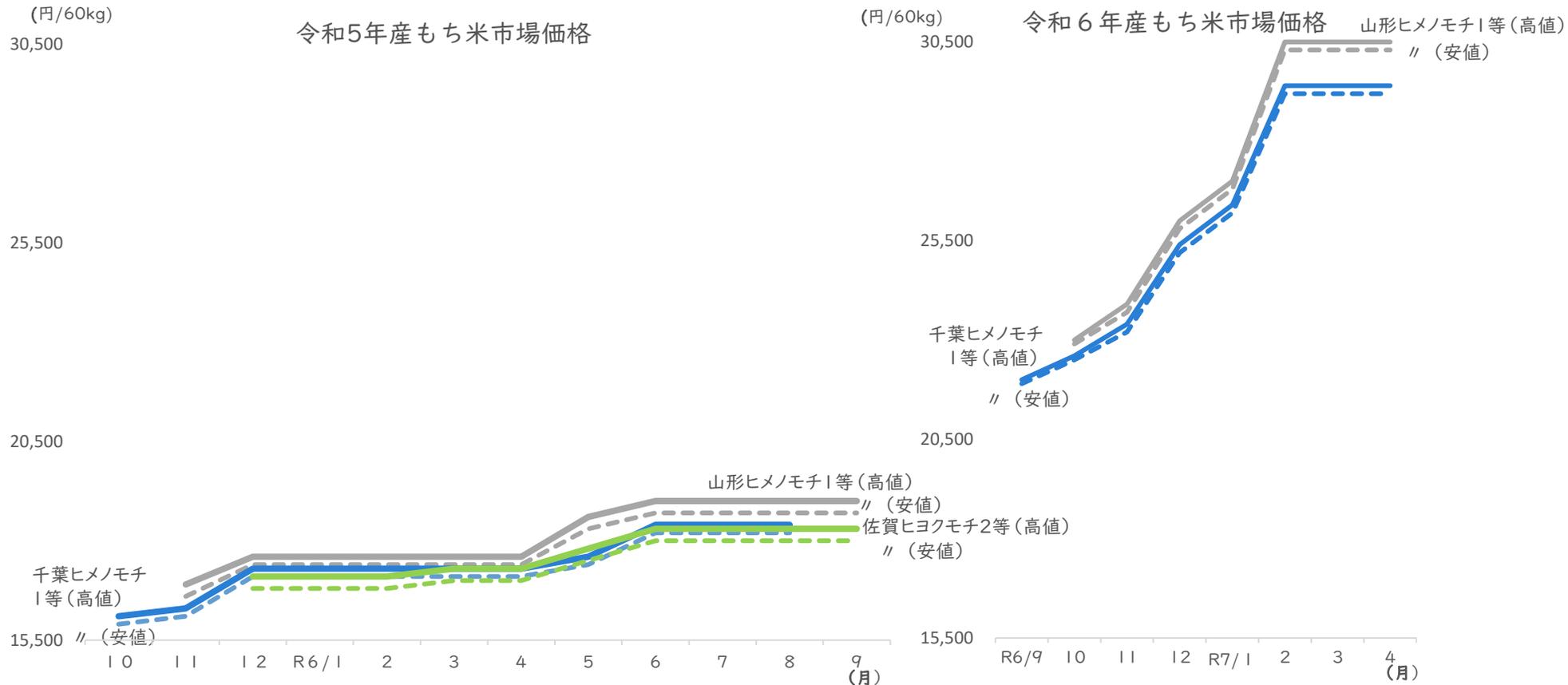
(円/60kg)

もち米契約栽培基準価格



19 もち米の市場取引価格

○ 業界紙による令和6年産もち米の市場取引価格は、米全体の需給状況や生産資材・物流経費の上昇等の影響で、前年産に比べ上昇。



令和5年産もち米取引価格 (単位：円/60kg)

	10	11	12	R6/1	2	3	4	5	6	7	8	9
山形ヒメノモチ1等 高値		16,900	17,600	17,600	17,600	17,600	17,600	18,600	19,000	19,000	19,000	19,000
山形ヒメノモチ1等 安値		16,600	17,400	17,400	17,400	17,400	17,400	18,300	18,700	18,700	18,700	18,700
千葉ヒメノモチ1等 高値	16,100	16,300	17,300	17,300	17,300	17,300	17,300	17,600	18,400	18,400	18,400	
千葉ヒメノモチ1等 安値	15,900	16,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,100	17,400	18,200	18,200	18,200	
佐賀ヒヨクモチ2等 高値			17,100	17,100	17,100	17,300	17,300	17,800	18,300	18,300	18,300	18,300
佐賀ヒヨクモチ2等 安値			16,800	16,800	16,800	17,000	17,000	17,500	18,000	18,000	18,000	18,000

令和6年産もち米市場取引価格 (単位：円/60kg)

	R6/9	10	11	12	R7/1	2	3	4
山形ヒメノモチ1等 高値		23,000	23,900	26,000	27,000	30,500	30,500	30,500
山形ヒメノモチ1等 安値		22,900	23,700	25,800	26,800	30,300	30,300	30,300
千葉ヒメノモチ1等 高値	22,000	22,600	23,400	25,400	26,400	29,400	29,400	29,400
千葉ヒメノモチ1等 安値	21,900	22,500	23,200	25,200	26,200	29,200	29,200	29,200

資料) 米穀業界紙の各月中旬の記事をもとに取りまとめたものである
(関東着・トラック配送・消費税抜き)。

資料) 米穀業界紙の各月中旬の記事をもとに取りまとめたものである (関東着・トラック配送・消費税抜き)。

20 もちの小売価格

○ もちの小売価格は、年別、地域別にバラツキがあるものの、おおむね600円～800円/1kg袋とほぼ横ばいで推移。

もち小売価格 (単位：もち 円/1kg袋、コシヒカリ 円/5kg袋、税込)

区 分	平成27年		平成28年		平成29年		平成30年		平成元年		令和2年		令和3年		令和4年		令和5年		令和6年		(参考) コシヒカリ (単一原料米)			
	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	対前年差	
北海道	札幌市	697	▲4	713	16	709	▲4	688	▲21	679	▲9	694	15	709	15	697	▲12	696	▲1	764	68	2,542	3,329	787
青森	青森市	747	▲46	728	▲19	743	15	767	24	758	▲9	767	9	742	▲25	700	▲42	735	35	703	▲32	2,017	2,631	614
岩手	盛岡市	687	46	685	▲2	684	▲1	679	▲5	672	▲7	656	▲16	647	▲9	650	3	655	5	769	114	1,973	2,373	400
宮城	仙台市	603	▲67	657	54	591	▲66	591	0	589	▲2	591	2	591	0	591	0	616	25	699	83	2,213	2,706	493
秋田	秋田市	778	35	757	▲21	762	5	746	▲16	763	17	736	▲27	728	▲8	707	▲21	725	18	808	83	2,373	2,951	578
山形	山形市	603	▲1	648	45	688	40	681	▲7	634	▲47	614	▲20	614	0	599	▲15	634	35	704	70	2,381	2,906	525
福島	福島市	743	0	748	5	679	▲69	682	3	677	▲5	681	4	679	▲2	669	▲10	705	36	753	48	2,381	2,806	425
茨城	水戸市	907	117	915	8	804	▲111	793	▲11	743	▲50	654	▲89	690	36	701	11	697	▲4	745	48	2,039	2,642	603
栃木	宇都宮市	768	18	794	26	748	▲46	783	35	770	▲13	740	▲30	735	▲5	727	▲8	682	▲45	739	57	2,340	2,870	530
群馬	前橋市	796	30	790	▲6	787	▲3	740	▲47	754	14	732	▲22	702	▲30	684	▲18	695	11	701	6	2,290	2,804	514
埼玉	さいたま市	762	▲2	776	14	767	▲9	688	▲79	716	28	726	10	724	▲2	704	▲20	745	41	748	3	2,299	2,881	582
千葉	千葉市	773	35	775	2	772	▲3	765	▲7	770	5	773	3	766	▲7	744	▲22	744	0	764	20	2,127	2,833	706
東京	東京都区部	713	▲17	707	▲6	707	0	717	10	734	17	743	9	739	▲4	743	4	755	12	800	45	2,323	2,951	628
神奈川	横浜市	605	▲6	619	14	687	68	656	▲31	589	▲67	586	▲3	594	8	566	▲28	648	82	660	12	2,268	2,967	699
山梨	甲府市	684	5	677	▲7	677	0	692	15	684	▲8	603	▲81	601	▲2	603	2	617	14	652	35	2,668	3,114	446
長野	長野市	657	▲113	627	▲30	678	51	772	94	804	32	809	5	809	0	804	▲5	691	▲113	722	31	2,168	2,631	463
新潟	新潟市	761	▲6	778	17	696	▲82	722	26	696	▲26	696	0	697	1	699	2	684	▲15	728	44	2,264	2,700	436
富山	富山市	666	▲48	664	▲2	646	▲18	637	▲9	642	5	641	▲1	641	0	641	0	664	23	700	36	2,263	2,668	405
石川	金沢市	713	▲16	732	19	677	▲55	675	▲2	663	▲12	655	▲8	678	23	673	▲5	688	15	721	33	2,343	2,720	377
福井	福井市	641	▲48	645	4	641	▲4	646	5	642	▲4	639	▲3	632	▲7	637	5	628	▲9	671	43	2,314	2,822	508
岐阜	岐阜市	618	▲28	618	0	609	▲9	612	3	616	4	614	▲2	612	▲2	643	31	646	3	705	59	2,168	2,756	588
静岡	静岡市	742	22	749	7	733	▲16	729	▲4	723	▲6	708	▲15	698	▲10	706	8	711	5	807	96	2,304	2,785	481
愛知	名古屋市区部	677	▲51	693	16	703	10	704	1	717	13	693	▲24	700	7	696	▲4	687	▲9	738	51	2,110	2,717	607
三重	津市	772	▲14	762	▲10	767	5	752	▲15	765	13	670	▲95	670	0	697	27	753	56	753	0	2,277	2,706	429
滋賀	大津市	757	45	772	15	761	▲11	746	▲15	757	11	737	▲20	717	▲20	735	18	743	8	700	▲43	2,234	2,843	609
京都	京都市	695	▲43	684	▲11	663	▲21	673	10	650	▲23	637	▲13	663	26	649	▲14	693	44	724	31	2,236	2,829	593
大阪	大阪市	637	▲51	620	▲17	629	9	632	3	644	12	631	▲13	627	▲4	648	21	664	16	644	▲20	2,271	2,896	625
兵庫	神戸市	603	▲141	606	3	661	55	678	17	675	▲3	678	3	667	▲11	670	3	698	28	735	37	2,209	2,819	610
奈良	奈良市	714	▲20	718	4	694	▲24	653	▲41	649	▲4	632	▲17	617	▲15	612	▲5	629	17	659	30	2,332	2,789	457
和歌山	和歌山市	839	▲1	773	▲66	645	▲128	645	0	646	1	646	0	646	0	635	▲11	619	▲16	696	77	2,608	3,028	420
鳥取	鳥取市	678	29	678	0	674	▲4	673	▲1	654	▲19	647	▲7	656	9	661	5	681	20	716	35	2,067	2,509	442
島根	松江市	763	74	848	85	842	▲6	862	20	806	▲56	814	8	843	29	792	▲51	764	▲28	788	24	2,101	2,565	464
岡山	岡山市	773	5	781	8	825	44	796	▲29	753	▲43	717	▲36	717	0	698	▲19	724	26	762	38	2,189	2,822	633
広島	広島市	694	▲38	746	52	675	▲71	686	11	709	23	688	▲21	686	▲2	690	4	697	7	754	57	2,342	2,892	550
山口	山口市	700	▲7	700	0	704	4	693	▲11	680	▲13	677	▲3	674	▲3	674	0	724	50	873	149	2,239	2,784	545
徳島	徳島市	802	▲5	790	▲12	788	▲2	729	▲59	716	▲13	726	10	717	▲9	735	18	777	42	821	44	1,970	2,484	514
香川	高松市	799	35	825	26	830	5	825	▲5	812	▲13	814	2	776	▲38	730	▲46	748	18	798	50	2,153	2,518	365
愛媛	松山市	736	▲20	735	▲1	738	3	705	▲33	708	3	723	15	723	0	695	▲28	727	32	798	71	2,248	2,599	351
高知	高知市	687	7	596	▲91	591	▲5	587	▲4	584	▲3	584	0	582	▲2	582	0	725	143	663	▲62	2,065	2,499	434
福岡	福岡市	749	▲33	749	0	749	0	749	0	738	▲11	708	▲30	663	▲45	681	18	718	37	722	4	2,325	2,898	573
佐賀	佐賀市	697	0	693	▲4	676	▲17	723	47	717	▲6	724	7	726	2	723	▲3	740	17	779	39	2,199	2,802	603
長崎	長崎市	809	107	719	▲90	752	33	797	45	701	▲96	664	▲37	696	32	704	8	679	▲25	706	27	2,085	2,900	815
熊本	熊本市	769	▲15	848	79	817	▲31	831	14	784	▲47	744	▲40	733	▲11	678	▲55	806	128	801	▲5	2,036	2,785	749
大分	大分市	591	▲7	591	0	591	0	625	34	682	57	591	▲91	605	14	610	5	604	▲6	640	▲36	2,094	2,733	639
宮崎	宮崎市	768	15	799	31	712	▲87	756	44	716	▲40	668	▲48	654	▲14	681	27	754	73	791	37	1,888	2,526	638
鹿児島	鹿児島市	833	80	831	▲2	800	▲31	698	▲102	709	11	726	17	726	0	754	28	772	18	673	▲99	2,147	2,721	574
沖縄	那覇市	396	12	373	▲23	368	▲5	368	0	700	332	626	-	651	25	651	0	655	4	688	33	2,451	3,011	560
参考	全国平均価格	722	▲3	725	3	712	▲13	710	▲8	702	▲8	687	▲15	684	▲2	680	▲4	699	19	734	35	2,233	2,777	544

資料) 総務省「小売物価統計調査(動向編)」
 注1) 都道府県庁所在地における包装生もち(1kg袋入り、普通品)の年平均小売価格(令和6年は各月公表値の平均)である。
 注2) 那覇市の小売価格は、平成30年まで400g袋で、平成30年までの全国平均価格には算定していない。

21 もち米の輸入・販売

- 令和6年度SBSもち米の輸入・販売は、アメリカ精米(短粒種)やタイ精米(長粒種)等で約3千トン。
- 令和6年度加工原材料用MA一般輸入もち米の定例販売(4月～11月)は、タイもち精米(長粒種)で約6千トン。

SBSもち米の輸入販売の見積合せ結果

(単位: トン、円/トン)

年度	平成26	27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
売渡数量計	3,466	5,704	4,939	4,426	4,622	3,922	2,212	3,014	1,916	2,928	2,714
米国もち精米短粒種	2,418	3,458	3,600	2,976	2,392	2,596	1,732	2,492	1,116	1,960	1,736
米国もち砕精米	724	1,260	700	1,000	940	600	300	300	300	500	780
豪州もち精米短粒種	-	-	143	-	-	-	-	-	-	-	-
タイもち精米長粒種	72	72	108	90	90	126	180	222	184	162	90
タイもち砕精米	252	914	388	360	1,200	600	-	-	316	234	108
アルゼンチンもち精米短粒種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	72	-
(参考) 売渡価格(税込)											
米国もち精米短粒種	223,645	232,377	224,062	245,427	223,571	212,806	221,400	278,640	406,512	285,644	343,049
米国もち砕精米	174,960	176,040	168,480	181,313	168,508	172,602	165,421	186,866	245,840	211,995	240,924
豪州もち精米短粒種	-	-	193,762	-	-	-	-	-	-	-	-
タイもち精米長粒種	191,160	210,600	209,520	242,460	209,628	244,620	217,620	227,737	229,500	235,000	522,180
タイもち砕精米	145,476	156,276	140,940	145,413	145,980	187,380	-	-	167,400	186,946	260,730
アルゼンチンもち精米短粒種	-	-	-	-	-	-	-	-	-	371,736	-

資料) 農林水産省: 輸入に係るSBSの結果概要。なお、売渡価格は、各年度の最初の成約時の成約数量に応じた加重平均価格である。
注) 令和6年度は、第4回SBS(WTO・SBS枠、令和6年12月20日)迄の見積合せ結果

加工原材料用MA一般輸入タイもち精米定例販売

(単位: トン、円/トン)

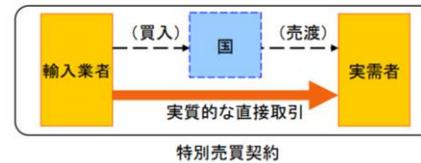
年度	販売期間	成約数量	加重平均価格	年度	販売期間	成約数量	加重平均価格	年度	販売期間	成約数量	加重平均価格
平成25	4～7月期	2,685	105,140	平成30	4～7月期	2,745	101,209	令和5	4～7月期	2,117	129,410
	8～11月期	3,092	119,752		8～11月期	2,951	113,581		8～11月期	2,673	138,328
	12～3月期	3,294	133,758		12～3月期	2,796	113,594		12～3月期	1,877	131,398
	年度合計	9,071	-		年度合計	8,492	-		年度合計	6,667	-
26	4～7月期	2,839	126,594	令和元	4～7月期	2,870	111,915	6	4～7月期	2,400	150,600
	8～11月期	3,404	121,089		8～11月期	3,153	124,117		8～11月期	3,184	146,944
	12～3月期	2,782	120,206		12～3月期	2,259	129,744		12～3月期	-	-
	年度合計	9,025	-		年度合計	8,282	-		年度合計	5,584	-
27	4～7月期	2,882	117,483	2	4～7月期	1,934	160,315	3	4～7月期	2,291	124,893
	8～11月期	2,968	120,978		8～11月期	3,132	170,129		8～11月期	2,114	118,698
	12～3月期	2,929	131,052		12～3月期	2,143	139,455		12～3月期	2,320	110,733
	年度合計	8,779	-		年度合計	7,209	-		年度合計	6,725	-
28	4～7月期	2,910	128,890	3	4～7月期	2,291	124,893	4	4～7月期	2,223	100,257
	8～11月期	3,221	125,005		8～11月期	2,114	118,698		8～11月期	2,435	116,620
	12～3月期	3,158	120,688		12～3月期	2,320	110,733		12～3月期	1,960	123,588
	年度合計	9,289	-		年度合計	6,725	-		年度合計	6,618	-
29	4～7月期	3,071	110,910	4	4～7月期	2,223	100,257	5	4～7月期	2,223	100,257
	8～11月期	2,704	112,157		8～11月期	2,435	116,620		8～11月期	2,435	116,620
	12～3月期	2,904	105,684		12～3月期	1,960	123,588		12～3月期	1,960	123,588
	年度合計	8,679	-		年度合計	6,618	-		年度合計	6,618	-

資料) 農林水産省: 加工原材料用米穀の定例販売結果

(参考) 米の輸入制度

- ガット・ウルグアイ・ラウンド合意(WTO協定)に基づき、それまで輸入がほとんど行われていなかったコメについても、最低限の輸入機会を提供することとし(ミニマム・アクセス米(MA米))、1995年度以降、ミニマム・アクセス数量(現在は77万玄米トン)について、無税の輸入枠(関税割当)を設定。
- MA米については、国産米に極力影響を与えないようにするため、国が一元的に輸入して販売(国家貿易)。
- TPP11協定においては、国家貿易制度を維持し、豪州向け国別枠(関税割当)を設定。
- MA米及びTPP11豪州枠以外の輸入には、高水準の枠外税率を設定。

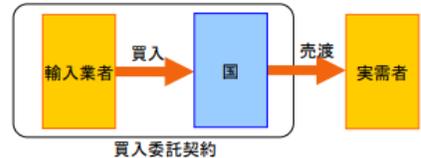
【SBS(Simultaneous Buy and Sell: 売買同時契約)輸入】(MA米のうち最大10万実トン、TPP11豪州枠)



- ① 輸入業者と国内の実需者がベアで国の入札に参加。
- ② 国の売渡価格と買入価格の差(マークアップ)が大きいものから落札。
- ③ 国と輸入業者・実需者(落札ベア)の3者間で特別売買契約を締結。
- ④ 国が輸入業者からの買入れと実需者への売渡しを同時に実施。

⇒ 主に主食用に販売。

【一般輸入】(MA米のうち、77万玄米トン-SBS輸入数量)



- ① 輸入業者が国の入札に参加。
- ② 国と輸入業者(落札業者)が買入委託契約を締結。
- ③ 国が輸入業者から買入れ。
- ④ その後、国が別の入札によって国内の実需者に売り渡し。

⇒ 価格の面で国産米では十分対応し難い加工用、飼料用等の非主食用に販売。

資料) 農林水産省「米をめぐる参考資料」

22 米菓、米粉調製品の輸入

○ 米菓の輸入量は、令和2年以降減少傾向で、令和6年では中国、タイ、台湾等から約5千トン。

○ 令和6年の米粉調製品の輸入量は、タイ、アメリカ、中国から約45千トン。

米菓の輸入量

(単位：トン)

国	年	令和2	3	4	5	6
中国		6,414	6,452	3,679	3,746	3,449
タイ		1,137	1,017	994	998	1,017
台湾		497	478	502	533	454
ベトナム		1	17	63	4	6
その他		1	1	4	8	8
合計		8,050	7,965	5,242	5,289	4,934

資料) 財務省：「貿易統計」

(参考)

米粉調製品は、米粉に砂糖やでん粉を混入したもので、米菓、穀粉、包装もち等の原料として使用される。

米粉の含有量が85%以下のものは、昭和37年から輸入が自由化されており、関税率は16.0%（無糖）、23.8%（加糖）となっている。

なお、米粉の含有率が85%を超えるものは、米と同様の税率（341円/kg）となっている。

うるち、もち別	加糖、無糖別	用途	使用理由
もち米粉	加糖	大福等	製品により砂糖を分離して国内で製造された米粉とブレンドして使用、分離せずに使用の両方
	無糖	切り餅	早く硬くなるので作業時間が短縮
うるち米粉	加糖	団子、柏餅	製品により砂糖を分離して国内で製造された米粉とブレンドして使用、分離せずに使用の両方
	無糖	米菓	澱粉混入品はふっくらと焼き上がるソフトに仕上がる

資料) 農林水産省「米粉調製品の輸入実態とその影響（平成13年3月26日）」

米粉調製品の輸入量

(単位：トン)

国	年	平成27	28	29	30	令和元	2	3	4	5	6
タイ		33,540	34,784	32,531	31,987	32,257	27,581	29,144	30,172	26,066	26,333
アメリカ		11,744	13,881	15,142	15,058	13,796	14,852	13,516	11,773	7,188	13,370
オーストラリア					0	0	510	374	391	595	2,905
中国		17,028	9,759	11,917	24,112	27,192	28,725	22,099	5,451	5,283	2,346
韓国		93	49	52	30	48	138	180	69	60	36
ベトナム		17	18	13	16	14	5	12	5	13	36
その他		48	1	24	0	2	0	1	3	2	18
合計		62,470	58,492	59,679	71,203	73,309	71,811	65,327	47,865	39,207	45,044

資料) 財務省「貿易統計」

23 コメ・コメ加工品の輸出

○「農林水産物・食品の輸出額を、2025年までに2兆円、2030年までに5兆円とする」国の輸出促進政策の一環として、海外で評価される日本の強みを有し、輸出拡大余地が大きく、関係者が一体となった輸出促進活動が効果的な輸出重点品目(28品目)の一つとして、コメ、パックご飯、米粉及び米粉製品も選定。

○ 2024年のコメ・コメ加工品の輸出金額は対前年比+10%増の636億円、原料米換算で+16%の68千トンで、パックご飯等の輸出金額は、対前年比+44%増の14億円、原料米換算+45%の1,208トン、米菓の輸出金額は、対前年比+8%増の66億円、原料米換算+2%の3,958トン。

農林水産物・食品の輸出拡大実行戦略 品目別輸出目標(11月30日とりまとめ)「コメ・パックご飯・米粉及び米粉製品」

1. 国別輸出額目標

国名	2019年実績	2025年目標	国別のニーズ・規制に対応するための課題・対策
合計	52億円	125億円	
香港	15億円	36億円	・大手米卸や輸出事業者が中食・外食を中心に需要を開拓しており、今後もレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
アメリカ	7億円	30億円	・大手米卸や輸出事業者が日系小売店需要を開拓。今後は日本食レストラン等やEC等の小売需要を開拓。またパックご飯や米粉の最大の輸出先国であり、更なる市場開拓を図る
中国	4億円	19億円	・大手米卸等がECやギフトボックス等の贈答用を中心に需要を伸ばしており、更なる開拓を図る ・コスト削減のためには指定精米工場等の活用に加えて工場等の追加や輸入規制の緩和が不可欠
シンガポール	8億円	16億円	・輸出事業者やJA系統等が中食・外食を中心に需要を開拓。更にレストランチェーンやおにぎり店等をメインターゲットとした需要開拓を図る
その他	18億円	22億円	・UAEや欧州等のコメを主食としない地域では、寿司等の日本食需要拡大に合わせて日本産米の需要開拓を図る ・EUを中心に拡大するグルテンフリー需要の取り込みを通じた米粉・米粉製品の需要開拓を図る

2. 輸出産地の育成・展開

- <輸出産地数>
 - ・30~40産地(先進的なJA等をモデル産地として、千トン超の輸出用米の生産に取り組む産地を育成する)
- <今後育成すべき国内産地>
 - ・国際競争力を有するコメの生産と農家手取り収入の確保の両立を図ることで、大ロットで輸出用米を生産・供給する産地
- <生産基盤の強化やロットの拡大、産地間連携の実現に向けた方策>
 - ・輸出事業者と産地が連携して取り組む、多収米の導入や作期分散等の生産・流通コスト低減の取組の支援により、輸出用米の生産拡大(主食用米からの作付転換)を推進

3. 加工・流通施設の整備

- ・パックご飯メーカーや米粉・米粉製品メーカーが輸出に取り組んでいるが、輸出先国の規制等への対応が必要になるケースがあることから、当該規制等対応のための取組や輸出向け生産に必要な機械・設備の導入等を支援

4. 品目別団体を中心とした販路開拓

- ・現在、(一社)全日本コメ・コメ関連食品輸出促進協議会(全米輸)が品目別のプロモーションを実施。プロモーションの財源には、国庫補助金のほか会費収入も一部活用。
- ・今後全米輸は、新興市場(輸出事業者の進出が不十分な国・地域あるいは分野。UAE・北欧や、アメリカのEC市場等を想定)でのプロモーション等を通じた市場開拓を予定。実施に際してはJETRO・JFOODO等も連携

コメ・コメ加工品の輸出実績の推移

(単位:トン、日本酒数量はkg、億円、%)

品目名	原料米換算 数量 金額	2019年	2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	(参考) 対前年同期比 主な輸出先国
コメ・ コメ加工品		35,531 329	36,569 347	45,959 524	53,931 613	58,472 576	67,923 636	+16 +10
コメ(援助米 を除く)	数量 金額	17,381 46	19,781 53	22,833 59	28,928 74	37,186 94	45,112 120	+21 +28
米菓 (あられ・せんべい)	数量 原料米換算 金額	4,033 3,428 43	4,222 3,589 45	5,141 4,370 56	4,523 3,845 55	4,565 3,880 61	4,656 3,958 66	+2 +2 +8
日本酒 (清酒)	数量 原料米換算 金額	24,928 14,041 234	21,761 12,257 241	32,052 18,054 402	35,894 20,218 475	29,194 16,444 411	31,056 17,493 435	+6 +6 +6
パックご飯等	数量 原料米換算 金額	1,018 535 5	1,205 634 7	1,129 594 6	1,384 727 8	1,593 837 10	2,298 1,208 14	+44 +44 +44
米粉及び米粉 製品(米粉麺 等)	数量 原料米換算 金額	118 146 0.3	249 308 0.7	88 108 0.6	173 213 1.0	101 125 0.8	123 152 1.1	+22 +22 +43
コメ・パックご 飯・米粉及び米 粉製品	原料米換算 数量 金額	18,062 52	20,723 60	23,535 66	29,868 83	38,148 105	46,472 136	+22 +29

資料) 農林水産省「米に関するマンスリーレポート」

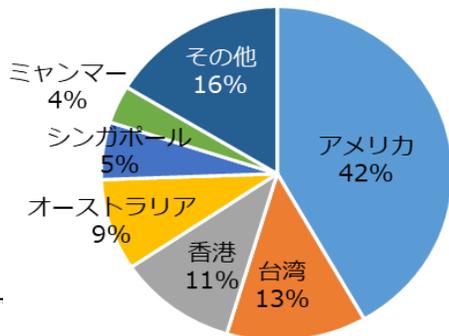
24 パックご飯・米菓等の輸出

● パックご飯等の輸出実績

(単位：億円)

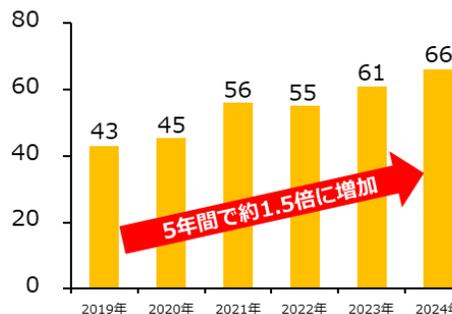


■ パックご飯等の輸出先国・地域内訳 (金額ベース、2024年)

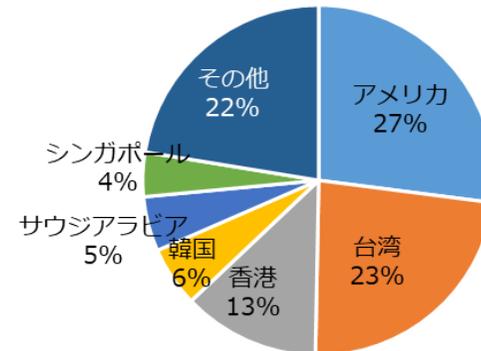


● 米菓の輸出実績

(単位：億円)



■ 米菓の輸出先国・地域内訳 (金額ベース、2024年)



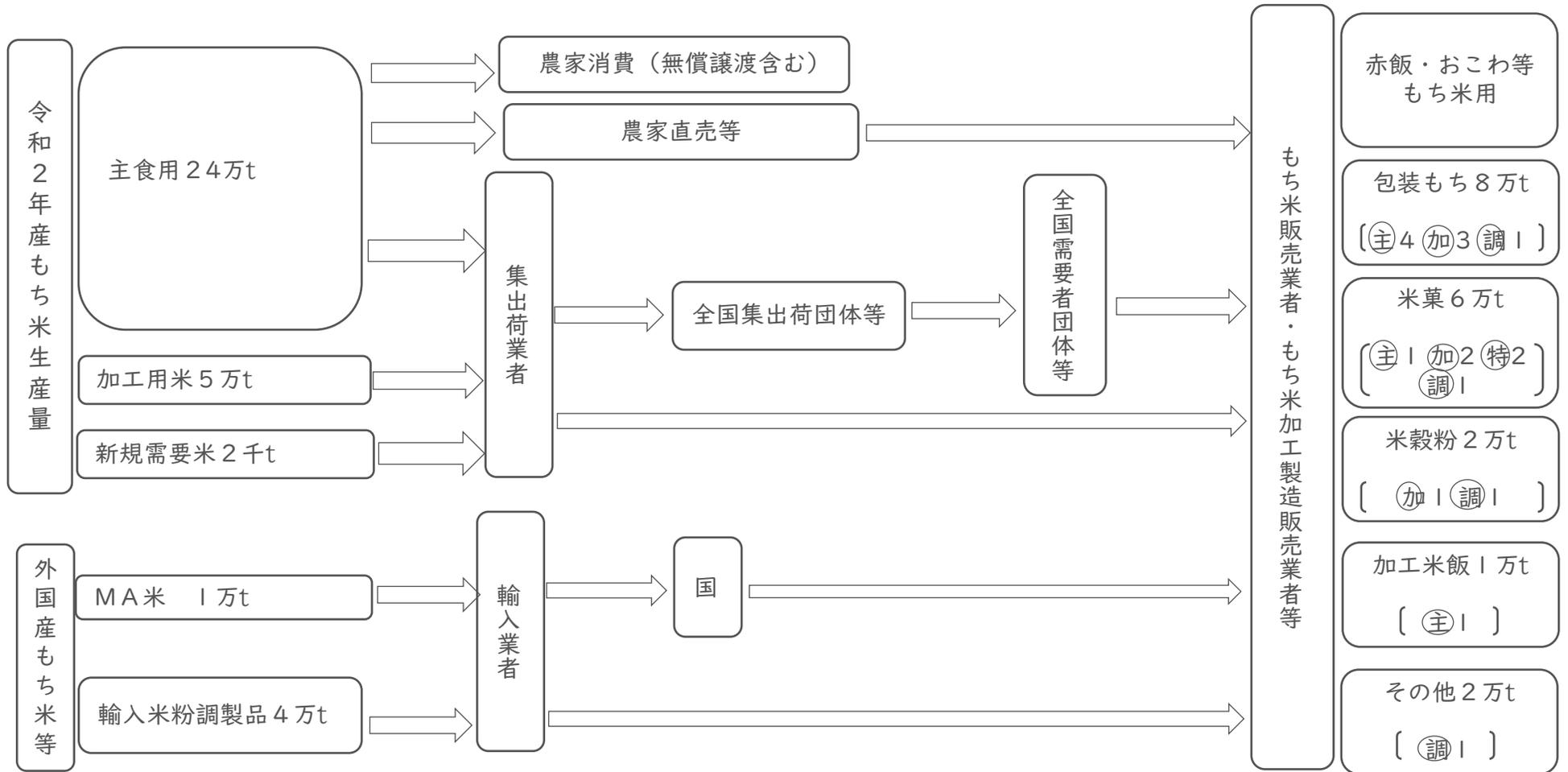
資料) 農林水産省「米をめぐる状況について」

JETRO農林水産物・食品市場価格調査対象国内産もち米加工品

	地域	品目・商品名	内容量	単位	税	販売価格	現地通貨	販売店の種別	販売店のターゲット	EC (online shop)	調査年月日
米菓 (あられ)	ロサンゼルス	Shirakiku Norimaki Arare	3 oz		非課税	2.99	USD	その他外資系	ローワーミドル	-	2023/9/24
	ロサンゼルス	Mochi crackers	6.35 oz		非課税	3.29	USD	現地系	アッパーミドル	-	2023/9/11
	ロサンゼルス	Hosoda Arare Honey Norimaki	8 oz		非課税	7.29	USD	日系	アッパーミドル	-	2023/9/18
	パリ	柿の種	93 g		税込	4.45	EUR	日系	アッパーミドル	EC	2023/10/11
	パリ	おかき餅	12 枚		税込	4.20	EUR	アジア系	アッパーミドル	-	2023/10/13
	ミラノ	Kaki no Tane 柿の種	210 g		税込	5.57	EUR	現地系	アッパーミドル	EC	2023/12/4
	ベルリン	亀田の柿の種30g x 6袋	180 g		税込	5.90	EUR	日系	ローワーミドル	-	2023/10/13
	クアラルンプール	亀田製菓 亀田の柿の種 減塩	164 g		税込	13.90	MYR	日系	アッパーミドル	-	2023/12/5
	上海	天狗の横綱あられ(天狗製菓)	80 g		税込	14.50	CNY	日系	アッパーミドル	-	2023/11/25
	上海	カレーあられ(若鳩製菓)	80 g		税込	25.50	CNY	その他外資系	富裕層	-	2023/12/5
	広州	横綱あられ(天狗製菓)	105 g		税込	18.80	CNY	現地系	アッパーミドル	-	2023/11/28
	香港	森白製菓 こんがりコーンあられ	32 g		非課税	29.00	HKD	現地系	ローワーミドル	-	2024/1/8
	サンパウロ	ラッカあられ(Nobi Co.)	58 g		税込	11.80	BRL	現地系	アッパーミドル	-	2023/7/31
	メキシコ	柿の種わさび 6P	164 g		税込	71.25	MXN	日系	アッパーミドル	-	2023/12/12
メキシコ	森白海老マヨネーズあられ	32 g		税込	69.12	MXN	日系	アッパーミドル	-	2023/12/12	
米穀粉	ニューヨーク	もち粉 国内産水稲もち米100%	250 g		税別	6.09	USD	日系	アッパーミドル	-	2023/12/5
	トロント	前原製粉白玉粉	150 g		税別	5.49	CAD	その他外資系	ローワーミドル	-	2023/12/14
	パリ	もち米粉	1 kg		税込	19.00	EUR	現地系	アッパーミドル	EC	2023/10/5
	ベルリン	みたけ食品 米粉パウダー国産米100%	300 g/袋		税込	3.80	EUR	日系	ローワーミドル	-	2023/12/30
	ベルリン	Maehara Reismehl 道明寺粉	180 g/袋		税込	6.45	EUR	日系	ローワーミドル	-	2023/11/15
	ベルリン	前原製粉 白玉粉	120 g/袋		税込	3.80	EUR	日系	ローワーミドル	-	2023/11/15
台北	萬藤 白玉粉	150 g/袋		税込	165.00	TWD	現地系	アッパーミドル	-	2023/10/24	
台北	前原製粉 白玉粉	80 g/袋		税込	135.00	TWD	現地系	アッパーミドル	-	2023/11/7	
包装米飯	ロンドン	ONISHI FOODS ONS INSTANT SANSAI OKOW	100 g		税込	5.99	GBP	日系	アッパーミドル	EC	2023/9/28
	パリ	もち麦入り赤飯	150 g		税込	3.25	EUR	現地系	アッパーミドル	-	2023/9/29
	ベルリン	マルちゃん赤飯	170 g/袋		税込	2.90	EUR	日系	ローワーミドル	-	2023/12/21
	メキシコ	たいまつもちり十六穀米	160 g/袋		非課税	163.29	MXN	日系	アッパーミドル	-	2023/12/12
	メキシコ	マルちゃん 中華風おこわ	160 g/袋		非課税	62.33	MXN	日系	アッパーミドル	-	2023/12/12

資料) 独立行政法人日本貿易振興機構「農林水産物・食品市場価格調査2023年7月~2014年1月」

(参考) 令和3米穀年度もち米等の生産・輸入・消費のイメージ



資料) 令和2年産もち米生産量は、農林水産省「米をめぐる状況について、加工用米生産量及び新規需要米の生産量(除く飼料用米)」、
 外国産もち米等及び包装もち等の用途別・制度別使用量は、農林水産省「マンスリーレポート」
 注1) MA米にはSBS米を含む。①は主食用米、②は加工用米、③は特定米穀、④は輸入米粉調製品。
 2) 農家消費、農家直売、集出荷業者直売、赤飯、おこわ等についてのもち米用使用量に関する公表値は無い。